

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2019年5月13日提出
【計算期間】	第18期(自 2018年2月15日至 2019年2月14日)
【ファンド名】	三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０２０ 三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０３０ 三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０４０
【発行者名】	三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目１２番１号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【連絡場所】	東京都千代田区有楽町一丁目１２番１号
【電話番号】	03-6250-4740
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【ファンド情報】

第１【ファンドの状況】

１【ファンドの性格】

（１）【ファンドの目的及び基本的性格】

当ファンドは、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

信託金の限度額は、各ファンドについて、5,000億円です。

* 委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託金の限度額を変更することができます。

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める商品の分類方法において、以下の商品分類および属性区分に該当します。

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型	国内	株式	MMF	インデックス型
	海外	債券	MRF	
追加型		不動産投信		特殊型 ()
	内外	その他資産 ()	ETF	
		資産複合		

属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替 ヘッジ	対象 インデックス	特殊型
株式	年1回	グローバル (日本を含む)	ファミリー ファンド	あり ()	日経225	ブル・ベア型
一般	年2回					
大型株	年4回	日本			TOPIX	条件付運用型
中小型株	年6回	北米	ファンド・	なし		
債券	(隔月)	欧州	オブ・		その他 ()	ロング・
一般	年12回	アジア	ファンズ			ショート型 /
公債	(毎月)	オセアニア				絶対収益
社債	日々	中南米				追求型
その他債券	その他	アフリカ				その他 ()
クレジット	()	中近東 (中東)				
属性 ()		エマージング				
不動産投信						
その他資産						
(投資信託証 券(資産複合 (株式、債 券、短期金融 資産)))						
資産複合 ()						

当ファンドが該当する商品分類・属性区分を網掛け表示しています。商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ (<http://www.toushin.or.jp/>) でご覧いただけ

ます。

ファミリーファンド、ファンド・オブ・ファンズに該当する場合、投資信託証券を通じて投資収益の源泉となる資産に投資しますので商品分類表と属性区分表の投資対象資産は異なります。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

商品分類の定義

単位型・追加型	単位型	当初、募集された資金が一つの単位として信託され、その後の追加設定は一切行われのないファンドをいいます。
	追加型	一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行われ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
投資対象地域	国内	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に国内の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	海外	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	内外	信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資対象資産	株式	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	債券	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に債券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	不動産投信（リート）	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式、債券および不動産投信以外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、株式、債券、不動産投信およびその他資産のうち複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。
独立区分	MMF（マネー・マネージメント・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMMFをいいます。
	MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	一般社団法人投資信託協会が定める「MMF等の運営に関する規則」に規定するMRFをいいます。
	ETF	投資信託及び投資法人に関する法律施行令（平成12年政令480号）第12条第1号および第2号に規定する証券投資信託ならびに租税特別措置法（昭和32年法律第26号）第9条の4の2に規定する上場証券投資信託をいいます。
補足分類	インデックス型	信託約款において、各種指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	特殊型	信託約款において、投資家（受益者）に対して注意を喚起することが必要と思われる特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

属性区分の定義

投資対象資産	株式	一般	次の大型株、中小型株属性にあてはまらない全てのものをいいます。
		大型株	信託約款において、主として大型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
		中小型株	信託約款において、主として中小型株に投資する旨の記載があるものをいいます。
	債券	一般	次の公債、社債、その他債券属性にあてはまらない全てのものをいいます。

	公債	信託約款において、日本国または各国の政府の発行する国債（地方債、政府保証債、政府機関債、国際機関債を含みます。以下同じ。）に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	社債	信託約款において、企業等が発行する社債に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他債券	信託約款において、公債または社債以外の債券に主として投資する旨の記載があるものをいいます。
	クレジット属性	目論見書または信託約款において、信用力が高い債券に選別して投資する、あるいは投資適格債（ＢＢＢ格相当以上）を投資対象の範囲とする旨の記載があるものについて高格付債、ハイイールド債等（ＢＢ格相当以下）を主要投資対象とする旨の記載があるものについて低格付債を債券の属性として併記します。
	不動産投信	信託約款において、主として不動産投信に投資する旨の記載があるものをいいます。
	その他資産	信託約款において、主として株式、債券および不動産投信以外に投資する旨の記載があるものをいいます。
	資産複合	信託約款において、複数資産を投資対象とする旨の記載があるものをいいます。
決算頻度	年１回	信託約款において、年１回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年２回	信託約款において、年２回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年４回	信託約款において、年４回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年６回（隔月）	信託約款において、年６回決算する旨の記載があるものをいいます。
	年12回（毎月）	信託約款において、年12回（毎月）決算する旨の記載があるものをいいます。
	日々	信託約款において、日々決算する旨の記載があるものをいいます。
	その他	上記属性にあてはまらない全てのものをいいます。
投資対象地域	グローバル	信託約款において、組入資産による投資収益が世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	日本	信託約款において、組入資産による投資収益が日本の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	北米	信託約款において、組入資産による投資収益が北米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	欧州	信託約款において、組入資産による投資収益が欧州地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アジア	信託約款において、組入資産による投資収益が日本を除くアジア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	オセアニア	信託約款において、組入資産による投資収益がオセアニア地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中南米	信託約款において、組入資産による投資収益が中南米地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	アフリカ	信託約款において、組入資産による投資収益がアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	中近東（中東）	信託約款において、組入資産による投資収益が中近東地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
	エマージング	信託約款において、組入資産による投資収益がエマージング地域（新興成長国（地域））の資産（一部組み入れている場合等を除きます。）を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
投資形態	ファミリーファンド	信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。

	ファンド・オブ・ファンズ	一般社団法人投資信託協会が定める「投資信託等の運用に関する規則」第２条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。
為替ヘッジ	あり	信託約款において、為替のフルヘッジまたは一部の資産に為替のヘッジを行う旨の記載があるものをいいます。
	なし	信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。
対象インデックス	日経２２５	信託約款において、日経２２５に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	ＴＯＰＩＸ	信託約款において、ＴＯＰＩＸに連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記以外の指数に連動する運用成果を目指す旨またはそれに準じる記載があるものをいいます。
特殊型	ブル・ベア型	信託約款において、派生商品をヘッジ目的以外に用い、積極的に投資を行うとともに各種指数・資産等への連動もしくは逆連動（一定倍の連動もしくは逆連動を含みます。）を目指す旨の記載があるものをいいます。
	条件付運用型	信託約款において、仕組債への投資またはその他特殊な仕組みを用いることにより、目標とする投資成果（基準価額、償還価額、収益分配金等）や信託終了日等が、明示的な指標等の値により定められる一定の条件によって決定される旨の記載があるものをいいます。
	ロング・ショート型／絶対収益追求型	信託約款において、ロング・ショート戦略により収益の追求を目指す旨もしくは特定の市場に左右されにくい収益の追求を目指す旨の記載があるものをいいます。
	その他	信託約款において、上記特殊型に掲げる属性のいずれにも該当しない特殊な仕組みあるいは運用手法の記載があるものをいいます。

上記定義は一般社団法人投資信託協会が定める「商品分類に関する指針」を基に委託会社が作成したものです。

〔ファンドの目的・特色〕

ファンドの目的

国内債券、国内株式、外国債券、外国株式、短期資産を実質的な主要投資対象とし、「時間軸」を意識しながら分散投資を行い、長期的な成長および安定的な収益の獲得をめざします。

ファンドの特色

特色

1

内外の主要金融資産に分散投資を行うバランス型運用ファンドです。

国内債券、国内株式、外国債券、外国株式および短期資産への分散投資により、リスクの低減を図り、時間軸を意識しながら、長期的な成長および安定的な収益の獲得をめざします。各ファンドの実質的な運用は、「三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」、「三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド」、「マネー・マーケット・マザーファンド」を通じて行います。

ライフイベント(ターゲット・イヤー)到達後に安定運用に移行します。

投資開始当初は収益性資産(国内株式、外国債券、外国株式)中心の運用を行い、投資家のみなさまのライフイベントに接近する(運用期間が経過する)に伴い、安定性資産(国内債券、短期資産)等の比率を引き上げて安定運用に移行します。

特色

2

ライフイベントにあわせて3つのファンドからご選択いただけます。

投資家のみなさまにライフイベントが起きる時期を「ターゲット・イヤー」とし、2020年、2030年、2040年をターゲット・イヤーとする3つのファンドからお選びいただけます。各ファンドは安定運用時期に近づくにしたがって株式の組み入れをしだいに減少させ、債券の組み入れをしだいに増加させることにより、リスクを減少させていく運用を行います。

○三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020

国内債券45%、国内株式28%、外国債券10%、外国株式14%および短期金融商品3%の比率で配分したポートフォリオを当初ポートフォリオとします。

2020年の決算日の翌日(第20計算期間開始日)を「安定運用開始時期」とし、これ以降主として「マネー・マーケット・マザーファンド」を通じてわが国の短期公社債および短期金融商品に投資し、より安定的な運用を行います。

○三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030

国内債券34%、国内株式34%、外国債券10%、外国株式19%および短期金融商品3%の比率で配分したポートフォリオを当初ポートフォリオとします。

2030年の決算日の翌日(第30計算期間開始日)を「安定運用開始時期」とし、これ以降主として「マネー・マーケット・マザーファンド」を通じてわが国の短期公社債および短期金融商品に投資し、より安定的な運用を行います。

○三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040

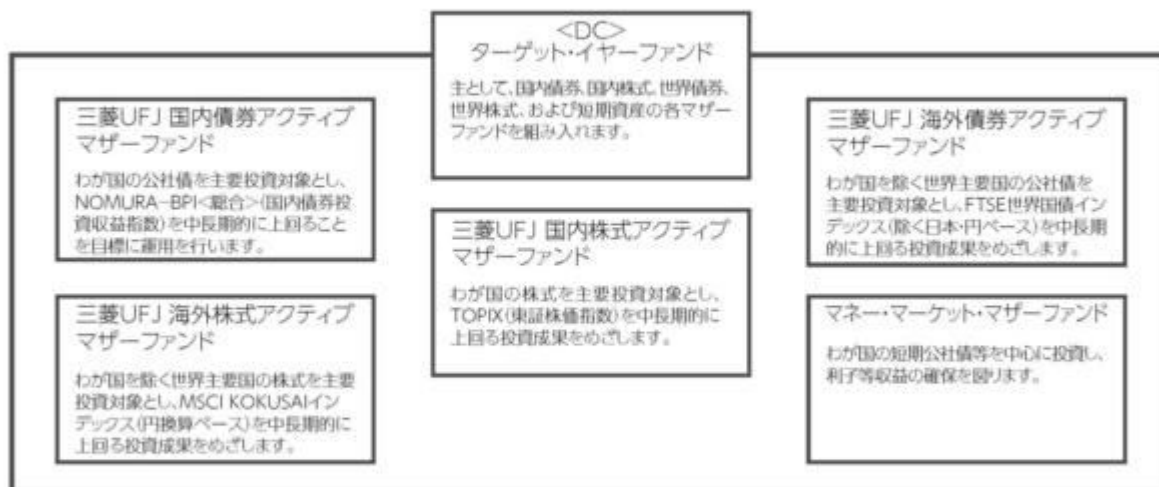
国内債券28%、国内株式39%、外国債券6%、外国株式24%および短期金融商品3%の比率で配分したポートフォリオを当初ポートフォリオとします。

2040年の決算日の翌日(第40計算期間開始日)を「安定運用開始時期」とし、これ以降主として「マネー・マーケット・マザーファンド」を通じてわが国の短期公社債および短期金融商品に投資し、より安定的な運用を行います。

実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。ただし、運用効率の向上を図るため、エクスポージャー[※]をコントロールする場合があります。
※エクスポージャーとは、金融資産のうち市場の価格変動リスク・為替変動リスクにさらしている資産の割合のことをいいます。



国内債券、国内株式、外国債券、外国株式、および短期資産に投資するそれぞれのマザーファンドを設定し、その運用にはベンチマーク※を定め、アクティブ運用により、これを上回る収益を追求します。



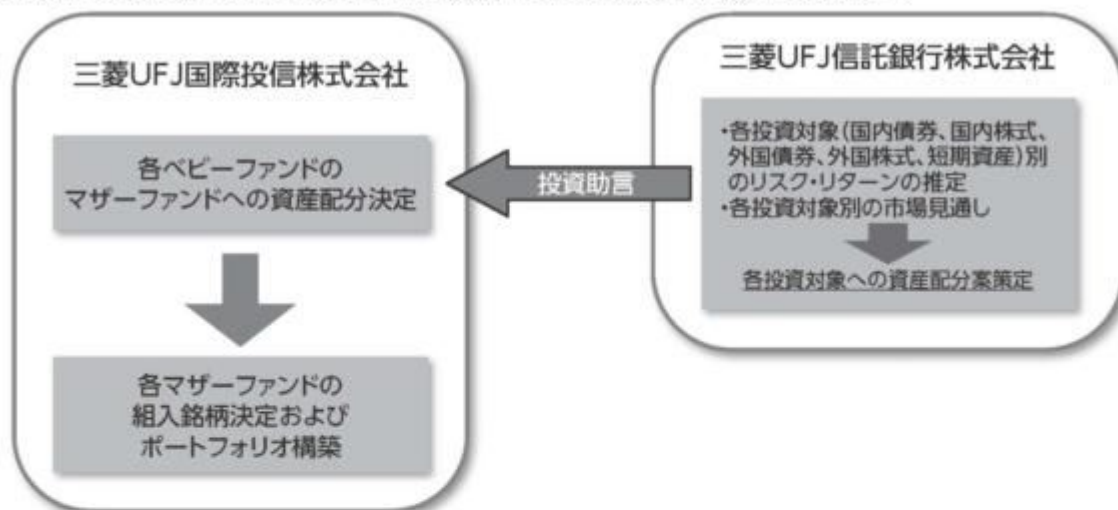
*三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020、三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030、三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040を総称して「<DC>ターゲット・イヤー ファンド」といいます。

※ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。

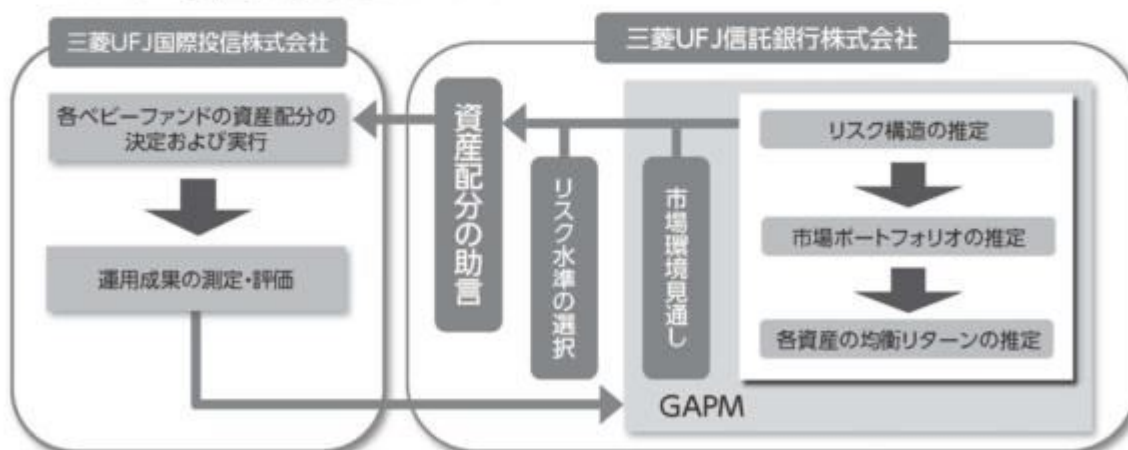
特色4

各ベビーファンドでの資産配分にあたりましては、三菱UFJ信託銀行株式会社からの投資助言※を受けます。

※投資助言者、投資助言の内容、投資助言の有無等については、変更する場合があります。



ベビーファンドの資産配分助言のプロセス

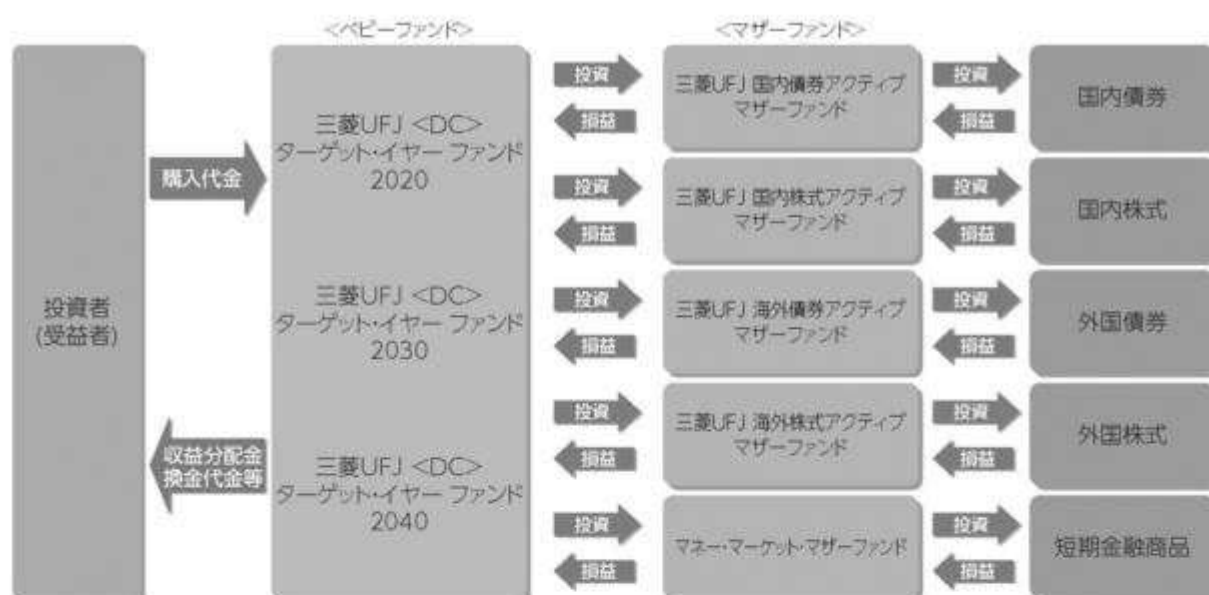


※GAPM(Global Asset Pricing Model)とは、市場均衡理論にその基礎を置く資本資産評価モデル(CAPM=Capital Asset Pricing Model)をグローバルに展開した、リスク・リターンの推計モデルです。

☞「運用担当に係る事項」については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufig.jp/corp/operation/fm.html>)をご覧ください。

■ファンドの仕組み

運用は主に各マザーファンドへの投資を通じて、内外の株式・債券へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。



■主な投資制限

「三菱UFJ」＜DC＞ターゲット・イヤー ファンド 2020」

- ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の60%未満とします。
- ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の40%未満とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

「三菱UFJ」＜DC＞ターゲット・イヤー ファンド 2030」

- ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の70%未満とします。
- ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の45%未満とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

「三菱UFJ」＜DC＞ターゲット・イヤー ファンド 2040」

- ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の80%未満とします。
- ・外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の45%未満とします。
- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

■分配方針

- ・年1回の決算時(2月14日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

指数について

NOMURA-BPI<総合>(国内債券投資収益指数)とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

TOPIX(東証株価指数)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

FTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

MSCI KOKUSAIインデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI KOKUSAIインデックス(円換算ベース)は、MSCI KOKUSAIインデックス(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI KOKUSAIインデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

(2) 【ファンドの沿革】

2001年11月14日	設定日、信託契約締結、運用開始
2005年10月1日	ファンドの委託会社としての業務をユーエフジェイパートナーズ投信株式会社から三菱ＵＦＪ投信株式会社に承継 名称を「ＵＦＪパートナーズ<ＤＣ>ターゲット・イヤーファンド 2010」から「三菱ＵＦＪ<ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド 2010」に、ＵＦＪパートナーズ<ＤＣ>ターゲット・イヤーファンド 2020」から「三菱ＵＦＪ<ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド 2020」に、ＵＦＪパートナーズ<ＤＣ>ターゲット・イヤーファンド 2030」から「三菱ＵＦＪ<ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド 2030」に、ＵＦＪパートナーズ<ＤＣ>ターゲット・イヤーファンド 2040」から「三菱ＵＦＪ<ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド 2040」に変更
2010年5月31日	「三菱ＵＦＪ<ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド 2010」の信託を終了
2018年7月18日	ファンドの投資対象に「三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド」、「三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド」、「三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド」、「三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド」、「マネー・マーケット・マザーファンド」を追加
2018年11月14日	ファンドの投資対象から「国内債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「世界債券マザーファンド」、「世界株式マザーファンド」、「短期資産マザーファンド」を削除

(3) 【ファンドの仕組み】

委託会社およびファンドの関係法人の役割

投資家（受益者）

お申込金 ↓ ↑ 収益分配金、解約代金等

販売会社	募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。
お申込金 ↓ ↑ 収益分配金、解約代金等	
受託会社（受託者） 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 （再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）	委託会社（委託者） 三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
信託財産の保管・管理等を行います。	信託財産の運用の指図、受益権の発行等を行います。
投資 ↓ ↑ 損益	
マザーファンド	
投資 ↓ ↑ 損益	
有価証券等	

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

委託会社の概況（2019年2月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日
1985年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱ＵＦＪ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱ＵＦＪ国際投信株式会社に変更
- ・大株主の状況

株 主 名	住 所	所有株式数	所有比率
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

2【投資方針】

（１）【投資方針】

三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド受益証券、三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマ

ザーファンド受益証券、三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券、三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド受益証券およびマネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、内外の株式・公社債に直接投資することがあります。主として、三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド受益証券、三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド受益証券、三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券、三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド受益証券およびマネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資を通して、国内債券・国内株式・外国債券・外国株式への分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

「三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド 2020」

国内債券45%、国内株式28%、外国債券10%、外国株式14%および短期金融商品3%の比率で配分したポートフォリオを当初ポートフォリオとします。

安定運用開始時期に近づくにしたがって株式の組入れを漸減し、債券および短期金融商品の組入れを漸増することにより、リスクを減少させていく運用を行います。

2020年の決算日の翌日（第20計算期間開始日）を「安定運用開始時期」とし、これ以降マネー・マーケット・マザーファンドに100%投資を行い、より安定的な運用を行います。

実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、運用効率の向上を図るため、エクスポージャーのコントロールを行う場合があります。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

「三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド 2030」

国内債券34%、国内株式34%、外国債券10%、外国株式19%および短期金融商品3%の比率で配分したポートフォリオを当初ポートフォリオとします。

安定運用開始時期に近づくにしたがって株式の組入れを漸減し、債券および短期金融商品の組入れを漸増することにより、リスクを減少させていく運用を行います。

2030年の決算日の翌日（第30計算期間開始日）を「安定運用開始時期」とし、これ以降マネー・マーケット・マザーファンドに100%投資を行い、より安定的な運用を行います。

実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、運用効率の向上を図るため、エクスポージャーのコントロールを行う場合があります。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

「三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド 2040」

国内債券28%、国内株式39%、外国債券6%、外国株式24%および短期金融商品3%の比率で配分したポートフォリオを当初ポートフォリオとします。

安定運用開始時期に近づくにしたがって株式の組入れを漸減し、債券および短期金融商品の組入れを漸増することにより、リスクを減少させていく運用を行います。

2040年の決算日の翌日（第40計算期間開始日）を「安定運用開始時期」とし、これ以降マネー・マーケット・マザーファンドに100%投資を行い、より安定的な運用を行います。

実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、運用効率の向上を図るため、エクスポージャーのコントロールを行う場合があります。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

（２）【投資対象】

投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

１．次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）

イ．有価証券

ロ．デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、信託約款に定める次のものに限りま。）

ａ．有価証券先物取引等

ｂ．スワップ取引

ｃ．金利先渡取引および為替先渡取引

八．約束手形

二．金銭債権

２．次に掲げる特定資産以外の資産

イ．為替手形

有価証券の指図範囲

この信託において投資の対象とする有価証券（金融商品取引法第２条第２項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）は、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社を委託会社とし、三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社を受託会社とする三菱ＵＦＪ国内債券アクティブマザーファンド、三菱ＵＦＪ国内株式アクティブマザーファンド、三菱ＵＦＪ海外債券アクティブマザーファンド、三菱ＵＦＪ海外株式アクティブマザーファンドおよびマネー・マーケット・マザーファンド（「マザーファンド」または「親投資信託」といいます。）の受益証券のほか、次に掲げるものとします。

- １．株券または新株引受権証書
- ２．国債証券
- ３．地方債証券
- ４．特別の法律により法人の発行する債券
- ５．社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。新株予約権付社債については、転換社債型新株予約権付社債（新株予約権付社債のうち、会社法第236条第１項第３号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているものならびに会社法施行前の旧商法第341条の３第１項第７号および第８号の定めがあるものをいいます。）に限ります。）
- ６．資産の流動化に係る特定社債券（金融商品取引法第２条第１項第４号で定めるものをいいます。）
- ７．特別の法律により設立された法人の発行する出資証券（金融商品取引法第２条第１項第６号で定めるものをいいます。）
- ８．協同組織金融機関に係る優先出資証券（金融商品取引法第２条第１項第７号で定めるものをいいます。）
- ９．資産の流動化に係る優先出資証券または新優先出資引受権を表示する証券（金融商品取引法第２条第１項第８号で定めるものをいいます。）
- １０．資産の流動化に係る特定目的信託の受益証券（金融商品取引法第２条第１項第13号で定めるものをいいます。）
- １１．コマーシャル・ペーパー
- １２．新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
- １３．外国または外国の者の発行する証券または証書で、１．から12．の証券または証書の性質を有するもの
- １４．投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第２条第１項第10号で定めるものをいいます。）
- １５．投資証券もしくは新投資口予約権証券または外国投資証券（金融商品取引法第２条第１項第11号で定めるものをいいます。16．において同じ。）で16．で定めるものの以外のもの
- １６．投資法人債券（金融商品取引法第２条第１項第11号で定めるものをいいます。以下16．において同じ。）または外国投資証券で投資法人債券に類する証券
- １７．外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第２条第１項第18号で定めるものをいいます。）
- １８．オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第２条第１項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限りません。）
- １９．預託証書（金融商品取引法第２条第１項第20号で定めるものをいいます。）
- ２０．外国法人が発行する譲渡性預金証書
- ２１．指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第２条第１項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限りません。）
- ２２．抵当証券（金融商品取引法第２条第１項第16号で定めるものをいいます。）
- ２３．貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第２条第１項第14号で定める受益証券発行信

託の受益証券に表示されるべきもの

24．外国の者に対する権利で23．の有価証券の性質を有するもの

なお、１．の証券または証書ならびに13．および19．の証券または証書のうち１．の証券または証書の性質を有するものを以下「株式」といい、２．から６．までの証券ならびに16．の証券ならびに13．および19．の証券または証書のうち２．から６．までの証券の性質を有するものを以下「公社債」といい、14．および15．の証券を以下「投資信託証券」といいます。

金融商品の指図範囲

この信託において投資の対象とする金融商品（金融商品取引法第２条第２項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）は、次に掲げるものとします。

- １．預金
- ２．指定金銭信託（金融商品取引法第２条第１項第14号で定める受益証券発行信託を除きます。）
- ３．コール・ローン
- ４．手形割引市場において売買される手形
- ５．貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第２条第２項第１号で定めるもの
- ６．外国の者に対する権利で５．の権利の性質を有するもの

その他の投資対象

信託約款に定める次に掲げるもの。

- ・外国為替予約取引

<マザーファンドの概要>

三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド

（基本方針）

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

（運用方法）

投資対象

わが国の公社債を主要投資対象とします。

投資態度

わが国の公社債を主要投資対象とします。ただし、事業債、円建外債についてはＢＢＢ格（Ｓ＆Ｐ、ムーディーズ、格付投資情報センターおよび日本格付研究所のいずれかから取得したもの）相当以上の格付を有する債券を対象とします。

NOMURA - B P I <総合>（国内債券投資収益指数）をベンチマークとし、これを中長期的に上回ることを目標に運用を行います。

経済や金利の分析をベースに、デュレーション・残存構成・債券種別等をコントロールするアクティブ運用を行います。具体的には、次のプロセスによります。

- １）経済分析や市場分析等を踏まえて金利の方向性等を予測し、デュレーションに関する戦略を策定します。
- ２）また、同様の分析を行い金利の期間構造等を予測し、上記のデュレーション戦略を加味して、残存構成に関する戦略を策定します。
- ３）さらに、各債券種別間の利回り較差動向等を予測し、債券種別構成に関する戦略を策定します。
- ４）以上の戦略を総合して、ポートフォリオを構築します。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

外貨建資産への投資は行いません。

有価証券先物取引等は信託約款の範囲で行います。

スワップ取引は信託約款の範囲で行います。

金利先渡取引は信託約款の範囲で行います。

デュレーションとは、債券の投資元本の回収に要する平均残存期間や金利感応度を意味する指標です。

この値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。

三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド

（基本方針）

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

（運用方法）

投資対象

わが国の株式を主要投資対象とします。

投資態度

ＴＯＰＩＸ（東証株価指数）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

銘柄選択にあたっては、以下の２つの観点から行います。

１）中長期的な成長力の高い銘柄や業績改善度の大きい銘柄を選択

２）企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択

具体的には、１）経営者のリーダーシップ、２）企業戦略の適切さ、３）マーケット支配力・競争力、４）産業の循環、産業構造の変化等の定性的な要素を踏まえ、中長期的にみて高い利益成長が期待できる銘柄や業績の大幅な改善が見込める銘柄を選択し、株価の妥当性をチェックしたうえで、組み入れを図ります。なお、株価評価は、企業の利益成長率に見合った適正価値が存在するというＧＡＲＰ（Growth at Reasonable Price）の考え方をベースに行います。また、各種評価尺度（株価収益率、株価キャッシュフロー倍率、株価売上高倍率、株価純資産倍率、配当利回り等）を用いて行う定量的な分析に、定性的な分析を加えた結果、「現在の株価が妥当株価に比して割安に放置されており、かつ今後株価上昇が期待できる」と判断される銘柄についても、適宜組み入れを図ります。

株式の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

株式への投資に制限を設けません。

投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

外貨建資産への投資は行いません。

有価証券先物取引等は信託約款の範囲で行います。

スワップ取引は信託約款の範囲で行います。

金利先渡取引は信託約款の範囲で行います。

三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド

（基本方針）

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

（運用方法）

投資対象

わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。

投資態度

ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

運用にあたっては、各国のマクロ分析や金利予測に基づいて、カンントリーアロケーション、デュレーションおよび残存構成のコントロール、利回り較差に着目した銘柄選択でアクティブに超過収益の獲得を目指します。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。

組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。

公社債の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

外貨建資産への投資に制限を設けません。

有価証券先物取引等は信託約款の範囲で行います。

スワップ取引は信託約款の範囲で行います。

金利先渡取引および為替先渡取引は信託約款の範囲で行います。

外国為替予約取引は信託約款の範囲で行います。

三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド

（基本方針）

この投資信託は、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。

（運用方法）

投資対象

わが国を除く世界主要国の株式を主要投資対象とします。

投資態度

M S C I K O K U S A I インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。

運用にあたっては、カンントリーアロケーションと銘柄選択の双方におけるアクティブ戦略により、超過収益の獲得を目指します。カンントリーアロケーションについてはマクロシナリオからのトップダウンアプローチにより決定します。また組入銘柄選択については、企業の成長力と株価を評価することにより決定します。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。

組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。

株式の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。

市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

株式への投資に制限を設けません。

投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

外貨建資産への投資に制限を設けません。

有価証券先物取引等は信託約款の範囲で行います。

スワップ取引は信託約款の範囲で行います。

金利先渡取引および為替先渡取引は信託約款の範囲で行います。

外国為替予約取引は信託約款の範囲で行います。

マネー・マーケット・マザーファンド

（基本方針）

この投資信託は、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。

（運用方法）

投資対象

わが国の公社債等を主要投資対象とします。

投資態度

わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。

なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

（投資制限）

株式への投資は行いません。

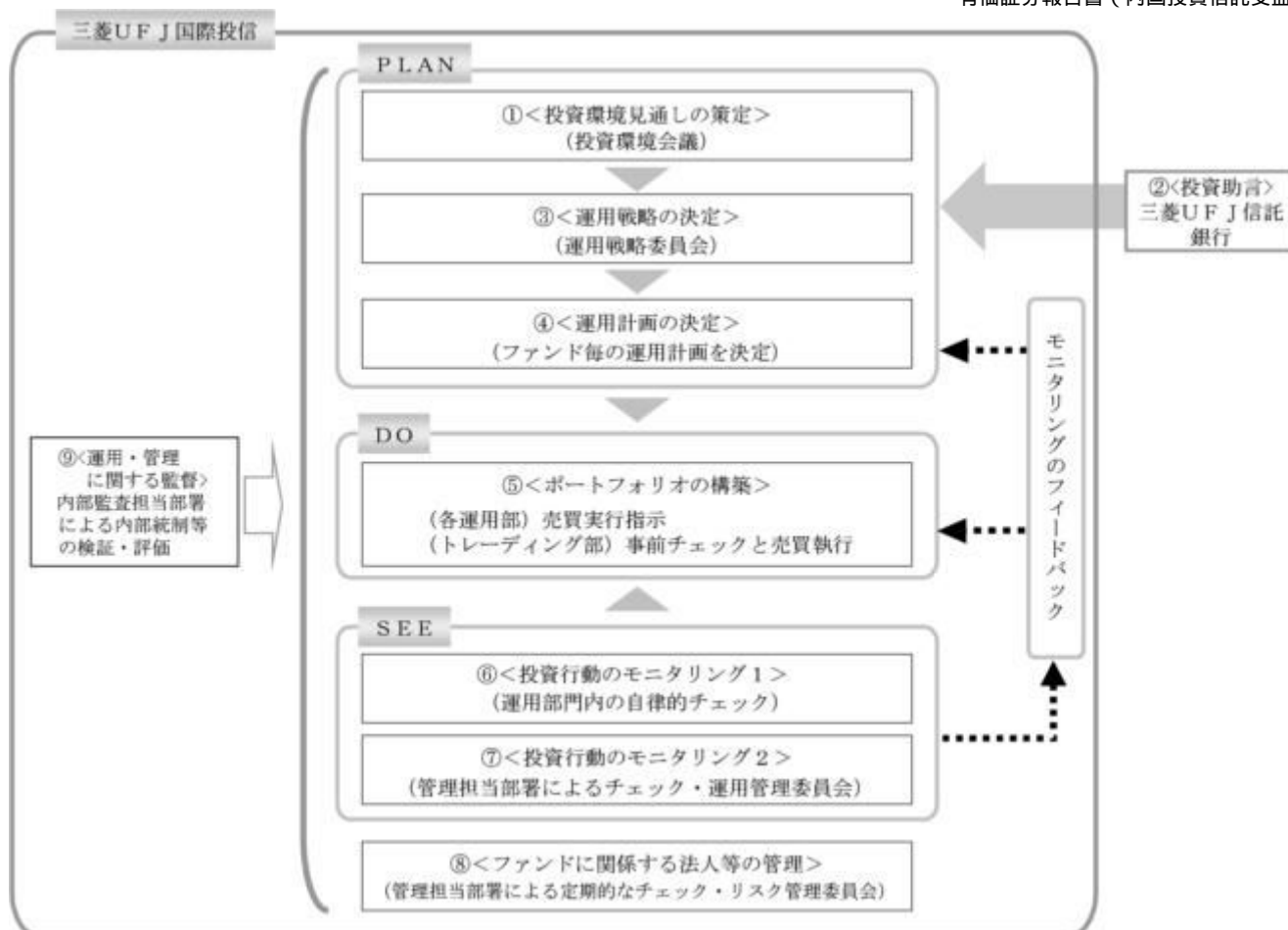
外貨建資産への投資は行いません。

有価証券先物取引等を行うことができます。

スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。

金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。

（３）【運用体制】



投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

投資助言

当ファンドは、三菱UFJ信託銀行（「助言元」といいます。）から運用戦略または運用計画の立案に資する投資助言を受けています。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通し、およびの投資助言に沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング2

運用部から独立した管理担当部署（40～60名程度）は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに関係する法人等の管理

助言元、受託会社等、ファンドの運営に関係する法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署（10名程度）は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

なお、委託会社に関する「運用担当者に係る事項」については、委託会社のホームページでご覧いただけます。

「運用担当者に係る事項」 <https://www.am.mufg.jp/corp/operation/fm.html>

（４）【分配方針】

毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

収益の分配にあてなかった利益については、信託約款に定める運用の基本方針に基づいて運用を行います。

（５）【投資制限】

< 信託約款に定められた投資制限 >

「三菱ＵＦＪ <ＤＣ> ターゲット・イヤー ファンド 2020」

株式

a．委託会社は、信託財産に属する株式（株式を組入可能な投資信託証券、新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。以下 において同じ。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の60以上となる投資の指図をしません。

b．a．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める株式の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

外貨建資産

a．委託会社は、信託財産に属する外貨建資産（外貨建資産を組入可能な投資信託証券を含みます。以下 において同じ。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の40以上となる投資の指図をしません。ただし、有価証券の値上り等により100分の40以上となった場合には、速やかにこれを調整します。

b．a．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

「三菱ＵＦＪ <ＤＣ> ターゲット・イヤー ファンド 2030」

株式

a．委託会社は、信託財産に属する株式（株式を組入可能な投資信託証券、新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。以下 において同じ。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の70以上となる投資の指図をしません。

b．a．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める株式の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

外貨建資産

a．委託会社は、信託財産に属する外貨建資産（外貨建資産を組入可能な投資信託証券を含みます。以下 において同じ。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分

の45以上となる投資の指図をしません。ただし、有価証券の値上り等により100分の45以上となった場合には、速やかにこれを調整します。

- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

「三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2040」

株式

- a. 委託会社は、信託財産に属する株式（株式を組入可能な投資信託証券、新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。以下 において同じ。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する株式の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の80以上となる投資の指図をしません。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める株式の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

外貨建資産

- a. 委託会社は、信託財産に属する外貨建資産（外貨建資産を組入可能な投資信託証券を含みます。以下 において同じ。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の45以上となる投資の指図をしません。ただし、有価証券の値上り等により100分の45以上となった場合には、速やかにこれを調整します。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

<ファンド共通>

投資信託証券

- a. 委託会社は、信託財産に属する投資信託証券（マザーファンドの受益証券を除きます。以下 において同じ。）の時価総額とマザーファンドの信託財産に属する投資信託証券の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額との合計額が信託財産の純資産総額の100分の5を超えることとなる投資の指図をしません。
- b. a. において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める投資信託証券の時価総額の割合を乗じて得た額とします。

スワップ取引

- a. 委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行うことの指図をすることができます。
- b. スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c. スワップ取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。
- d. 委託会社は、スワップ取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

信用取引

- a. 委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができます。
- b. a. の信用取引の指図は、当該売付けに係る建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内である場合においてできます。
- c. 信託財産の一部解約等の事由により b. の売付けに係る建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとします。

外国為替予約取引

- a．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。
- b．a．の予約取引の指図は、信託財産に係る為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産（マザーファンドの信託財産に属する外貨建資産の時価総額のうち信託財産に属するとみなした額を含みます。）の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- c．b．において信託財産に属するとみなした額とは、信託財産に属するマザーファンドの受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の純資産総額に占める外貨建資産の時価総額の割合を乗じて得た額とします。
- d．b．の限度額を超えることとなった場合には、委託会社は所定の期間内に、その超える額に相当する為替予約の一部を解消するための外国為替の売買の予約取引の指図をするものとします。

公社債の借入れ

- a．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。なお、当該公社債の借入れを行うにあたり担保の提供が必要と認めたときは、担保の提供の指図を行うものとします。
- b．a．の指図は、当該借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c．信託財産の一部解約等の事由により、b．の借入れに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する借り入れた公社債の一部を返還するための指図をするものとします。

資金の借入れ

- a．委託会社は、信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性を図るため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。）を目的として、または再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。
- b．一部解約に伴う支払資金の手当てに係る借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金の借入額は、借入指図を行う日における信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。
- c．収益分配金の再投資に係る借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとし、資金借入額は収益分配金の再投資額を限度とします。

投資する株式等の範囲

- a．委託会社が投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所に上場されている株式の発行会社の発行するものおよび金融商品取引所に準ずる市場において取引されている株式の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券についてはこの限りではありません。
- b．a．の規定にかかわらず、上場予定または登録予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場または登録されることが確認できるものについては委託会社が投資することを指図することができます。

金利先渡取引および為替先渡取引

- a．委託会社は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行うことの指図をすることができます。
- b．金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- c．金利先渡取引および為替先渡取引の評価は、当該取引契約の相手方が市場実勢金利等をもとに算出した価額で評価するものとします。

- d．委託会社は、金利先渡し取引および為替先渡し取引を行うにあたり担保の提供あるいは受入れが必要と認めたときは、担保の提供あるいは受入れの指図を行うものとします。

有価証券の貸付

- a．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸し付けることの指図をすることができます。
- 1．株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額を超えないものとします。
 - 2．公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額を超えないものとします。
- b．a．に規定する限度額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する契約の一部の解約を指図するものとします。
- c．委託会社は、有価証券の貸付にあたって必要と認めたときは、担保の受入れの指図を行うものとします。

公社債の空売り

- a．委託会社は、信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産において有しない公社債またはの規定により借り入れた公社債を売り付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、売り付けた公社債の引渡しまたは買戻しにより行うことの指図をすることができるものとします。
- b．a．の売付けの指図は、当該売付けに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- c．信託財産の一部解約等の事由により、b．の売付けに係る公社債の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託会社は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとします。

特別の場合の外貨建有価証券への投資制限

外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制限されることがあります。

デリバティブ取引等

デリバティブ取引等（金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号に定めるデリバティブ取引をいう。）については、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額として、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないこととします。

信用リスクの分散規制

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

<その他法令等に定められた投資制限>

- ・同一の法人の発行する株式への投資制限
委託会社は、同一の法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式に係る議決権の総数が当該株式に係る議決権の総数に100分の50の率を乗じて得た数を超えることとなる場合においては、投資信託財産をもって取得することを受託会社に指図しないものとします。

3【投資リスク】

（１）投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

（主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。）

価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け株式や公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

為替変動リスク

実質的な主要投資対象である海外の株式や公社債は外貨建資産であり、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式や公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

留意事項

- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。当ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。

（２）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。この内容は運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

トレーディング担当部署

有価証券等の売買執行および発注に係る法令等の遵守および監視・牽制を行います。

コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

<流動性リスクに対する管理体制>

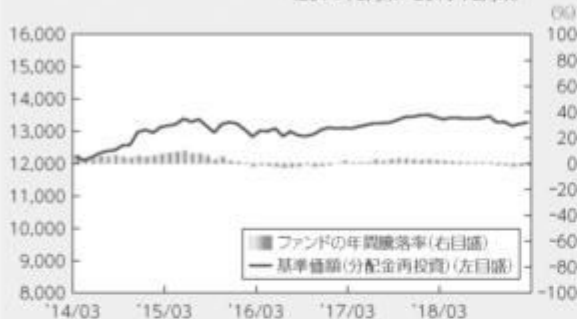
流動性リスクは、運用部門で市場の流動性の把握に努め、投資対象・売買数量等を適切に選択することによりコントロールしています。また、運用部門から独立したリスク管理担当部署においても流動性についての情報収集や分析・管理を行い、この結果はリスク管理に関する会議体等に報告されます。

* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

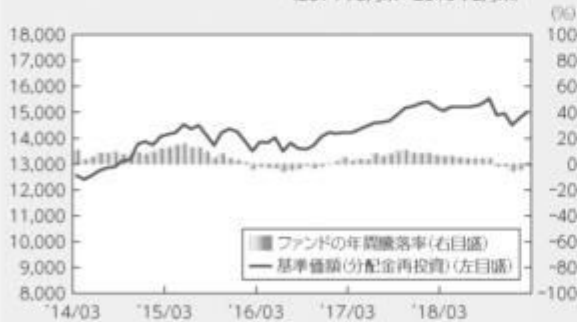
下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移
(2014年3月末～2019年2月末)● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較
(2014年3月末～2019年2月末)

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移
(2014年3月末～2019年2月末)● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較
(2014年3月末～2019年2月末)

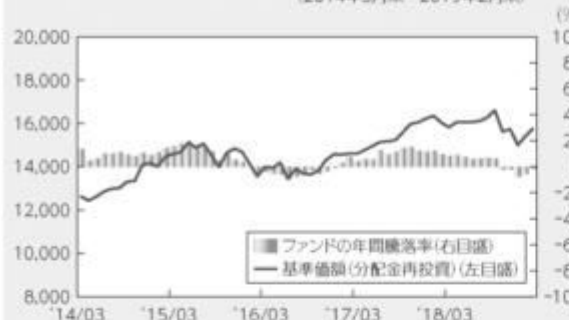
- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

(2014年3月末～2019年2月末)



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2014年3月末～2019年2月末)



(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	TOPIX(配当込み)	TOPIX(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の停止またはTOPIX(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

ありません。

申込手数料の対価として提供する役務の内容は、ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続等です。

(2) 【換金（解約）手数料】

かかりません。

換金（解約）手数料の対価として提供する役務の内容は、商品の換金に関する事務手続等です。

(3) 【信託報酬等】

「三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2020」

- ・信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.188%（税抜1.1%）の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。
消費税率が10%となった場合は、年1.21%（税抜 1.1%）となります。

1 万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 × （保有日数 / 365）

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- ・信託報酬は、毎計算期間の 6 ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。
- ・信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.58%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.44%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.08%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

「三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2030」

- ・信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に以下に定める率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。

計算期間 ^(注)	信託報酬率
2020年2月14日までの場合	年1.512% （税抜 年1.4%）
2020年2月15日以降の場合	年1.188% （税抜 年1.1%）

消費税率が10%となった場合は、以下の通りとなります。

計算期間 ^(注)	信託報酬率
2020年2月14日までの場合	年1.54% （税抜 年1.4%）
2020年2月15日以降の場合	年1.21% （税抜 年1.1%）

1 万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 × （保有日数 / 365）

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- ・信託報酬は、毎計算期間の 6 ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。
- ・信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

計算期間 ^(注)	委託会社	販売会社	受託会社
2020年2月14日までの場合	0.71%	0.61%	0.08%
2020年2月15日以降の場合	0.58%	0.44%	0.08%

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

各支払先が信託報酬の対価として提供する役務の内容は以下の通りです。

支払先	対価として提供する役務の内容
委託会社	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

「三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2040」

- ・信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に以下に定める率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。

計算期間 ^(注)	信託報酬率
2020年2月14日までの場合	年1.62% (税抜 年1.5%)
2020年2月15日から2030年2月14日の場合	年1.512% (税抜 年1.4%)
2030年2月15日以降の場合	年1.188% (税抜 年1.1%)

消費税率が10%となった場合は、以下の通りとなります。

計算期間 ^(注)	信託報酬率
2020年2月14日までの場合	年1.65% (税抜 年1.5%)
2020年2月15日から2030年2月14日の場合	年1.54% (税抜 年1.4%)
2030年2月15日以降の場合	年1.21% (税抜 年1.1%)

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- ・信託報酬は、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。
- ・信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

計算期間 ^(注)	委託会社	販売会社	受託会社
2020年2月14日までの場合	0.76%	0.66%	0.08%
2020年2月15日から 2030年2月14日の場合	0.71%	0.61%	0.08%
2030年2月15日以降の場合	0.58%	0.44%	0.08%

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

各支払先が信託報酬の対価として提供する役務の内容は以下の通りです。

支払先	対価として提供する役務の内容
委託会社	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

（注）休日が変更となった場合は、日付が変更になることがあります。

（４）【その他の手数料等】

- ・信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入を行う場合の借入金の利息および借入れに関する品借料は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。
- ・信託財産に係る監査費用（消費税等相当額を含みます。）は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に一定率を乗じて得た額とし、信託財産中から支弁します。支弁時期は信託報酬と同様です。
- ・信託財産（投資している投資信託を含みます。）の組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等（消費税等相当額を含みます。）、先物取引・オプション取引等に要する費用および外貨建資産の保管等に要する費用についても信託財産が負担するものとします。

売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

（注）手数料等については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

（５）【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて受益権の取得の申込みを行う資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。上記以外の場合の課税の取扱いは、次の通りです。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

１．収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

２．解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場

株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2019年2月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０２０】

（１）【投資状況】

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	306,706,507	96.69
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	10,491,209	3.31
純資産総額		317,197,716	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

平成31年 2月28日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	マネー・マーケット・マザーファンド	248,414,023	1.0182	252,959,998	1.0183	252,959,999	79.75
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド	19,413,277	1.4574	28,292,910	1.4589	28,322,029	8.93
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド	9,441,543	1.2833	12,116,333	1.3145	12,410,908	3.91
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド	3,285,918	1.9565	6,428,899	2.0050	6,588,265	2.08
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	2,202,786	2.8943	6,375,524	2.9169	6,425,306	2.03

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

平成31年 2月28日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	96.69
合計	96.69

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成31年2月末日、同日前 1 年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （1万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）

第9計算期間末日	(平成22年 2月15日)	182,031,413	182,031,413	10,224	10,224
第10計算期間末日	(平成23年 2月14日)	205,903,984	205,903,984	10,502	10,502
第11計算期間末日	(平成24年 2月14日)	185,699,204	185,699,204	10,068	10,068
第12計算期間末日	(平成25年 2月14日)	211,533,426	211,533,426	11,105	11,105
第13計算期間末日	(平成26年 2月14日)	238,304,250	238,304,250	12,147	12,147
第14計算期間末日	(平成27年 2月16日)	274,208,124	274,208,124	12,952	12,952
第15計算期間末日	(平成28年 2月15日)	298,600,239	298,600,239	12,716	12,716
第16計算期間末日	(平成29年 2月14日)	318,823,494	318,823,494	13,102	13,102
第17計算期間末日	(平成30年 2月14日)	327,526,559	327,526,559	13,364	13,364
第18計算期間末日	(平成31年 2月14日)	315,405,121	315,405,121	13,253	13,253
	平成30年 2月末日	328,705,232	—	13,433	—
	3月末日	328,447,684	—	13,372	—
	4月末日	326,305,714	—	13,415	—
	5月末日	328,340,390	—	13,408	—
	6月末日	330,757,270	—	13,397	—
	7月末日	328,928,570	—	13,399	—
	8月末日	332,698,938	—	13,408	—
	9月末日	331,406,679	—	13,463	—
	10月末日	327,855,860	—	13,280	—
	11月末日	325,617,527	—	13,291	—
	12月末日	306,315,883	—	13,166	—
	平成31年 1月末日	306,277,802	—	13,228	—
	2月末日	317,197,716	—	13,274	—

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第9計算期間	0円
第10計算期間	0円
第11計算期間	0円
第12計算期間	0円
第13計算期間	0円
第14計算期間	0円
第15計算期間	0円
第16計算期間	0円
第17計算期間	0円
第18計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
--	--------

第9計算期間	7.27
第10計算期間	2.71
第11計算期間	4.13
第12計算期間	10.29
第13計算期間	9.38
第14計算期間	6.62
第15計算期間	1.82
第16計算期間	3.03
第17計算期間	1.99
第18計算期間	0.83

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第9計算期間	33,461,645	10,141,914	178,038,860
第10計算期間	28,333,608	10,313,114	196,059,354
第11計算期間	34,940,511	46,551,036	184,448,829
第12計算期間	20,099,505	14,065,789	190,482,545
第13計算期間	39,913,463	34,204,489	196,191,519
第14計算期間	34,118,527	18,596,297	211,713,749
第15計算期間	56,435,881	33,326,933	234,822,697
第16計算期間	25,561,860	17,050,470	243,334,087
第17計算期間	41,800,424	40,049,135	245,085,376
第18計算期間	31,699,083	38,794,539	237,989,920

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０３０】

（１）【投資状況】

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	306,048,981	95.78
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	13,476,714	4.22
純資産総額		319,525,695	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

平成31年 2月28日現在

国 / 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマ ザーファンド	120,719,125	1.4575	175,952,182	1.4589	176,117,131	55.12
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマ ザーファンド	49,456,355	1.2834	63,472,287	1.3145	65,010,378	20.35
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマ ザーファンド	16,361,774	1.9570	32,019,992	2.0050	32,805,356	10.27
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマ ザーファンド	11,010,359	2.8942	31,867,211	2.9169	32,116,116	10.05

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成31年 2月28日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	95.78
合計	95.78

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成31年2月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 （１万口当たりの純資産価額）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第9計算期間末日（平成22年 2月15日）	111,428,235	111,428,235	9,916	9,916
第10計算期間末日（平成23年 2月14日）	133,764,746	133,764,746	10,328	10,328
第11計算期間末日（平成24年 2月14日）	113,550,666	113,550,666	9,577	9,577

第12計算期間末日	(平成25年 2月14日)	150,251,546	150,251,546	10,968	10,968
第13計算期間末日	(平成26年 2月14日)	178,962,424	178,962,424	12,472	12,472
第14計算期間末日	(平成27年 2月16日)	235,532,237	235,532,237	13,764	13,764
第15計算期間末日	(平成28年 2月15日)	251,091,651	251,091,651	13,284	13,284
第16計算期間末日	(平成29年 2月14日)	275,423,644	275,423,644	14,218	14,218
第17計算期間末日	(平成30年 2月14日)	299,497,658	299,497,658	14,995	14,995
第18計算期間末日	(平成31年 2月14日)	312,815,766	312,815,766	14,894	14,894
	平成30年 2月末日	303,830,914	—	15,200	—
	3月末日	302,174,991	—	15,053	—
	4月末日	305,996,455	—	15,207	—
	5月末日	307,625,649	—	15,206	—
	6月末日	306,229,599	—	15,205	—
	7月末日	307,467,176	—	15,229	—
	8月末日	310,995,403	—	15,317	—
	9月末日	322,617,450	—	15,533	—
	10月末日	310,311,930	—	14,888	—
	11月末日	312,849,783	—	14,962	—
	12月末日	301,916,636	—	14,507	—
	平成31年 1月末日	309,802,773	—	14,786	—
	2月末日	319,525,695	—	15,016	—

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第9計算期間	0円
第10計算期間	0円
第11計算期間	0円
第12計算期間	0円
第13計算期間	0円
第14計算期間	0円
第15計算期間	0円
第16計算期間	0円
第17計算期間	0円
第18計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第9計算期間	10.78
第10計算期間	4.15
第11計算期間	7.27

第12計算期間	14.52
第13計算期間	13.71
第14計算期間	10.35
第15計算期間	3.48
第16計算期間	7.03
第17計算期間	5.46
第18計算期間	0.67

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第9計算期間	22,031,592	7,425,170	112,370,467
第10計算期間	19,921,813	2,773,260	129,519,020
第11計算期間	15,797,930	26,756,506	118,560,444
第12計算期間	25,829,113	7,402,705	136,986,852
第13計算期間	23,304,821	16,798,309	143,493,364
第14計算期間	45,705,526	18,072,554	171,126,336
第15計算期間	35,158,480	17,260,395	189,024,421
第16計算期間	21,590,094	16,894,935	193,719,580
第17計算期間	30,452,068	24,440,941	199,730,707
第18計算期間	21,118,698	10,818,304	210,031,101

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０４０】

（１）【投資状況】

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	296,303,685	96.24
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	11,572,712	3.76
純資産総額		307,876,397	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

平成31年 2月28日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマ ザーファンド	85,111,759	1.4574	124,047,159	1.4589	124,169,545	40.33
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマ ザーファンド	70,244,924	1.2833	90,145,311	1.3145	92,336,952	29.99
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマ ザーファンド	24,349,498	1.9565	47,639,793	2.0050	48,820,743	15.86
日本	親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマ ザーファンド	10,619,646	2.8943	30,736,441	2.9169	30,976,445	10.06

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

平成31年 2月28日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	96.24
合計	96.24

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（３）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成31年2月末日、同日前１年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

		純資産総額		基準価額 （１万口当たりの純資産価額）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第9計算期間末日	（平成22年 2月15日）	94,052,877	94,052,877	9,526	9,526
第10計算期間末日	（平成23年 2月14日）	115,967,948	115,967,948	10,024	10,024
第11計算期間末日	（平成24年 2月14日）	111,086,781	111,086,781	9,102	9,102
第12計算期間末日	（平成25年 2月14日）	140,678,954	140,678,954	10,688	10,688
第13計算期間末日	（平成26年 2月14日）	184,376,255	184,376,255	12,509	12,509
第14計算期間末日	（平成27年 2月16日）	232,359,743	232,359,743	14,101	14,101
第15計算期間末日	（平成28年 2月15日）	246,711,926	246,711,926	13,323	13,323

第16計算期間末日	(平成29年 2月14日)	276,735,063	276,735,063	14,632	14,632
第17計算期間末日	(平成30年 2月14日)	305,858,193	305,858,193	15,742	15,742
第18計算期間末日	(平成31年 2月14日)	303,759,510	303,759,510	15,575	15,575
	平成30年 2月末日	310,389,457	—	16,043	—
	3月末日	306,369,573	—	15,820	—
	4月末日	310,607,115	—	16,053	—
	5月末日	309,015,403	—	16,061	—
	6月末日	310,670,362	—	16,061	—
	7月末日	312,359,594	—	16,110	—
	8月末日	316,910,450	—	16,275	—
	9月末日	326,456,632	—	16,605	—
	10月末日	303,589,170	—	15,635	—
	11月末日	306,792,484	—	15,727	—
	12月末日	294,403,953	—	15,004	—
	平成31年 1月末日	302,157,539	—	15,418	—
	2月末日	307,876,397	—	15,758	—

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第9計算期間	0円
第10計算期間	0円
第11計算期間	0円
第12計算期間	0円
第13計算期間	0円
第14計算期間	0円
第15計算期間	0円
第16計算期間	0円
第17計算期間	0円
第18計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第9計算期間	13.06
第10計算期間	5.22
第11計算期間	9.19
第12計算期間	17.42
第13計算期間	17.03
第14計算期間	12.72
第15計算期間	5.51

第16計算期間	9.82
第17計算期間	7.58
第18計算期間	1.06

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第9計算期間	35,551,474	14,438,985	98,732,041
第10計算期間	22,667,050	5,712,349	115,686,742
第11計算期間	23,246,298	16,886,154	122,046,886
第12計算期間	27,801,523	18,230,432	131,617,977
第13計算期間	32,149,100	16,377,224	147,389,853
第14計算期間	35,299,145	17,903,861	164,785,137
第15計算期間	38,452,353	18,055,794	185,181,696
第16計算期間	27,064,483	23,118,244	189,127,935
第17計算期間	37,243,910	32,080,198	194,291,647
第18計算期間	25,548,381	24,813,774	195,026,254

（参考）

三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド

投資状況

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	日本	5,308,736,300	59.30
社債券	日本	3,113,936,000	34.79
	スイス	100,156,000	1.12
	小計	3,214,092,000	35.90
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	429,083,222	4.80
純資産総額		8,951,911,522	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

平成31年 2月28日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
日本	社債券	第 2 8 回三菱東京Ｕ ＦＪ銀行（劣後特約 付）	200,000,000	102.76	205,522,000	102.68	205,362,000	1.560000	2021/1/20	2.29
日本	社債券	第 4 9 回野村ホール ディングス	200,000,000	100.49	200,980,000	100.46	200,936,000	0.437000	2020/6/10	2.24
日本	社債券	第 1 0 回ビー・ ビー・シー・イー・ エス・エー	200,000,000	100.39	200,788,000	100.39	200,782,000	0.473000	2020/7/9	2.24
日本	社債券	第 1 5 回パナソニッ ク	200,000,000	100.24	200,486,000	100.21	200,436,000	0.190000	2021/9/17	2.24
日本	社債券	第 1 9 回ルノー	200,000,000	99.53	199,060,000	99.54	199,098,000	0.360000	2020/7/6	2.22
日本	国債証券	第 9 9 回利付国債 （ 2 0 年）	130,000,000	119.45	155,286,300	119.38	155,200,500	2.100000	2027/12/20	1.73
日本	国債証券	第 3 4 4 回利付国債 （ 1 0 年）	150,000,000	101.95	152,935,500	101.91	152,865,000	0.100000	2026/9/20	1.71
日本	国債証券	第 1 6 6 回利付国債 （ 2 0 年）	140,000,000	105.54	147,761,600	105.34	147,483,000	0.700000	2038/9/20	1.65
日本	国債証券	第 5 8 回利付国債 （ 3 0 年）	120,000,000	105.73	126,884,400	105.46	126,562,800	0.800000	2048/3/20	1.41
日本	国債証券	第 1 5 2 回利付国債 （ 2 0 年）	100,000,000	114.77	114,776,000	114.66	114,661,000	1.200000	2035/3/20	1.28
日本	国債証券	第 3 4 1 回利付国債 （ 1 0 年）	110,000,000	103.25	113,575,000	103.16	113,480,400	0.300000	2025/12/20	1.27
日本	国債証券	第 3 4 3 回利付国債 （ 1 0 年）	110,000,000	101.96	112,163,700	101.88	112,071,300	0.100000	2026/6/20	1.25
日本	国債証券	第 3 4 2 回利付国債 （ 1 0 年）	110,000,000	101.93	112,128,500	101.85	112,039,400	0.100000	2026/3/20	1.25
日本	国債証券	第 5 4 回利付国債 （ 3 0 年）	100,000,000	106.08	106,081,000	105.81	105,818,000	0.800000	2047/3/20	1.18
日本	社債券	第 4 6 9 回東北電力	100,000,000	105.88	105,887,000	105.76	105,769,000	1.543000	2023/6/23	1.18
日本	国債証券	第 3 3 8 回利付国債 （ 1 0 年）	100,000,000	103.50	103,503,000	103.42	103,422,000	0.400000	2025/3/20	1.16
日本	社債券	第 5 3 4 回東京電力	100,000,000	101.32	101,320,000	101.24	101,249,000	2.055000	2019/10/29	1.13
日本	社債券	第 2 回東京電力パ ワーグリッド	100,000,000	100.55	100,559,000	100.54	100,544,000	0.580000	2022/3/9	1.12
日本	国債証券	第 3 9 7 回利付国債 （ 2 年）	100,000,000	100.49	100,496,000	100.49	100,491,000	0.100000	2021/2/1	1.12
日本	社債券	第 4 回三井住友トラ スト・パナソニック ファイナンス	100,000,000	100.37	100,379,000	100.37	100,373,000	0.230000	2023/10/25	1.12
日本	社債券	第 1 9 回大和証券グ ループ本社	100,000,000	100.26	100,266,000	100.25	100,253,000	0.412000	2020/2/25	1.12
日本	社債券	第 2 回スタンダー ド・チャータード・ ビーエルシー	100,000,000	99.90	99,903,000	100.20	100,206,000	0.453000	2020/6/5	1.12
日本	社債券	第 3 回イオンフィ ンシャルサービス	100,000,000	100.21	100,216,000	100.19	100,199,000	0.402000	2020/4/30	1.12
日本	社債券	第 1 回日本生命 2 0 1 7 基金	100,000,000	100.19	100,191,000	100.18	100,180,000	0.304000	2021/8/2	1.12
スイス	社債券	UBS GROU P FUNDING （ SWITZERL AND ）	100,000,000	100.11	100,113,000	100.15	100,156,000	0.719000	2024/11/8	1.12
日本	社債券	第 5 0 回日本電気	100,000,000	100.18	100,181,000	100.12	100,128,000	0.290000	2022/6/15	1.12
日本	社債券	第 2 3 回東京セン チュリーリース	100,000,000	100.10	100,104,000	100.08	100,089,000	0.200000	2023/4/13	1.12

日本	社債券	第１回明治安田生命 ２０１８基金	100,000,000	100.02	100,028,000	100.00	100,004,000	0.315000	2023/9/25	1.12
日本	社債券	第３８回日産フィナンシャルサービス	100,000,000	99.97	99,970,000	99.96	99,968,000	0.001000	2019/6/20	1.12
日本	社債券	第１２回東京電力パワーグリッド	100,000,000	99.94	99,940,000	99.92	99,926,000	0.440000	2023/4/19	1.12

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成31年 2月28日現在

種類	投資比率（％）
国債証券	59.30
社債券	35.90
合計	95.21

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド

投資状況

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国 / 地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	8,564,329,610	98.10
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	165,669,537	1.90
純資産総額		8,729,999,147	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位３０銘柄

平成31年 2月28日現在

国／地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	ソニー	電気機器	59,300	5,046.00	299,227,800	5,341.00	316,721,300	3.63
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	45,800	6,605.00	302,509,000	6,697.00	306,722,600	3.51
日本	株式	リコー	電気機器	229,100	1,112.00	254,759,200	1,130.00	258,883,000	2.97
日本	株式	ＺＯＺＯ	小売業	119,900	1,702.33	204,109,367	2,096.00	251,310,400	2.88
日本	株式	富士通	電気機器	23,800	7,685.37	182,911,934	7,509.00	178,714,200	2.05
日本	株式	日立製作所	電気機器	52,200	3,385.00	176,697,000	3,335.00	174,087,000	1.99
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	43,700	3,937.00	172,046,900	3,942.00	172,265,400	1.97
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	37,400	4,479.00	167,514,600	4,469.00	167,140,600	1.91
日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	15,700	10,330.00	162,181,000	10,280.00	161,396,000	1.85
日本	株式	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	銀行業	277,800	571.80	158,846,040	576.70	160,207,260	1.84
日本	株式	ＳＧホールディングス	陸運業	47,000	3,055.00	143,585,000	3,260.00	153,220,000	1.76
日本	株式	ソニーフィナンシャルホールディングス	保険業	71,600	2,041.00	146,135,600	2,105.00	150,718,000	1.73
日本	株式	エーザイ	医薬品	16,100	8,546.00	137,590,600	9,195.00	148,039,500	1.70
日本	株式	イビデン	電気機器	93,500	1,515.00	141,652,500	1,580.00	147,730,000	1.69
日本	株式	神戸物産	卸売業	37,100	3,520.00	130,592,000	3,800.00	140,980,000	1.61
日本	株式	ワークマン	小売業	16,400	7,140.00	117,096,000	8,520.00	139,728,000	1.60
日本	株式	小松製作所	機械	51,000	2,680.00	136,680,000	2,731.00	139,281,000	1.60
日本	株式	コシダカホールディングス	サービス業	84,700	1,501.00	127,134,700	1,627.00	137,806,900	1.58
日本	株式	日本触媒	化学	18,000	7,420.00	133,560,000	7,590.00	136,620,000	1.56
日本	株式	りそなホールディングス	銀行業	256,900	507.80	130,453,820	503.30	129,297,770	1.48
日本	株式	ニューフレアテクノロジー	機械	19,800	5,770.00	114,246,000	6,380.00	126,324,000	1.45
日本	株式	シャープ	電気機器	96,700	1,206.00	116,620,200	1,302.00	125,903,400	1.44
日本	株式	ジャストシステム	情報・通信業	43,700	2,541.00	111,041,700	2,860.00	124,982,000	1.43
日本	株式	日本ユニシス	情報・通信業	42,300	2,877.00	121,697,100	2,905.00	122,881,500	1.41
日本	株式	東レ	繊維製品	156,600	782.40	122,523,840	775.50	121,443,300	1.39
日本	株式	バンダイナムコホールディングス	その他製品	25,100	4,875.00	122,362,500	4,740.00	118,974,000	1.36
日本	株式	共立メンテナンス	サービス業	22,400	5,140.00	115,136,000	5,290.00	118,496,000	1.36
日本	株式	三菱商事	卸売業	37,500	3,193.92	119,772,128	3,139.00	117,712,500	1.35
日本	株式	フジ・メディア・ホールディングス	情報・通信業	71,700	1,610.00	115,437,000	1,630.00	116,871,000	1.34
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	37,500	2,892.00	108,450,000	3,114.00	116,775,000	1.34

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類／業種別投資比率

平成31年 2月28日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	鉱業	0.79
	建設業	2.68
	食料品	3.56

繊維製品	1.39
パルプ・紙	2.07
化学	5.84
医薬品	4.96
石油・石炭製品	0.14
ゴム製品	0.44
ガラス・土石製品	0.81
機械	4.36
電気機器	15.18
輸送用機器	5.96
精密機器	1.25
その他製品	1.82
電気・ガス業	1.85
陸運業	4.01
空運業	1.00
倉庫・運輸関連業	0.76
情報・通信業	8.68
卸売業	5.64
小売業	7.00
銀行業	5.29
証券、商品先物取引業	1.13
保険業	1.73
その他金融業	1.29
不動産業	2.11
サービス業	6.38
小計	98.10
合計	98.10

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド

投資状況

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	15,836,441,261	37.29
	イタリア	7,074,707,273	16.66
	スペイン	5,480,763,362	12.91
	イギリス	2,945,491,062	6.94
	カナダ	1,889,643,402	4.45
	ベルギー	1,614,279,959	3.80
	メキシコ	1,520,256,756	3.58
	ドイツ	1,054,910,398	2.48
	フランス	931,588,453	2.19
	オランダ	518,005,081	1.22
	アイルランド	415,082,669	0.98
	ポーランド	256,668,720	0.60
	マレーシア	191,882,528	0.45
	スウェーデン	145,935,451	0.34
	シンガポール	144,268,672	0.34
	ノルウェー	93,381,068	0.22
	オーストラリア	9,586,251	0.02
	小計	40,122,892,366	94.48
特殊債券	アメリカ	542,510,747	1.28
社債券	フランス	658,383,789	1.55
	アメリカ	453,708,400	1.07
小計		1,112,092,189	2.62
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	691,326,155	1.62
純資産総額		42,468,821,457	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

平成31年 2月28日現在

国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (％)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (％)
イタリア	国債証券	4.75 ITALY GOVT 280901	17,000,000	14,663.62	2,492,816,952	14,794.70	2,515,100,207	4.750000	2028/9/1	5.92
スペイン	国債証券	1.95 SPAIN GOVT 260430	17,000,000	13,501.43	2,295,243,759	13,644.43	2,319,554,541	1.950000	2026/4/30	5.46
アメリカ	国債証券	2 T-NOTE 221031	20,000,000	10,789.86	2,157,973,680	10,898.17	2,179,634,906	2.000000	2022/10/31	5.13
アメリカ	国債証券	2 T-NOTE 250815	20,000,000	10,543.82	2,108,764,724	10,705.01	2,141,003,641	2.000000	2025/8/15	5.04
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 240215	18,000,000	11,082.62	1,994,872,130	11,212.59	2,018,267,086	2.750000	2024/2/15	4.75

カナダ	国債証券	1.5 CAN GOVT 260601	23,000,000	8,108.98	1,865,067,037	8,215.84	1,889,643,402	1.500000	2026/6/1	4.45
アメリカ	国債証券	1.625 T-NOTE 260215	18,000,000	10,231.75	1,841,715,618	10,401.85	1,872,334,448	1.625000	2026/2/15	4.41
イタリア	国債証券	2.5 ITALY GOVT 251115	14,000,000	12,712.68	1,779,775,481	12,786.78	1,790,150,166	2.500000	2025/11/15	4.22
アメリカ	国債証券	1.375 T-NOTE 200131	15,000,000	10,929.84	1,639,477,133	10,972.23	1,645,834,833	1.375000	2020/1/31	3.88
アメリカ	国債証券	1.75 T-NOTE 230515	14,000,000	10,633.99	1,488,758,895	10,756.98	1,505,978,392	1.750000	2023/5/15	3.55
イタリア	国債証券	1.85 ITALY GOVT 240515	11,000,000	12,403.73	1,364,411,190	12,591.53	1,385,069,019	1.850000	2024/5/15	3.26
スペイン	国債証券	2.35 SPAIN GOVT 330730	10,000,000	13,360.41	1,336,041,823	13,624.65	1,362,465,496	2.350000	2033/7/30	3.21
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 210430	12,000,000	10,969.62	1,316,355,005	11,028.96	1,323,475,977	2.250000	2021/4/30	3.12
イギリス	国債証券	4.25 GILT 551207	5,000,000	25,045.69	1,252,284,615	24,840.41	1,242,020,578	4.250000	2055/12/7	2.92
イタリア	国債証券	0.95 ITALY GOVT 230301	10,000,000	12,181.80	1,218,180,708	12,339.72	1,233,972,220	0.950000	2023/3/1	2.91
ドイツ	国債証券	0.5 BUND 260215	8,000,000	13,100.75	1,048,060,080	13,186.37	1,054,910,398	0.500000	2026/2/15	2.48
ベルギー	国債証券	4.5 BEL GOVT 260328	6,000,000	16,331.12	979,867,203	16,408.00	984,480,584	4.500000	2026/3/28	2.32
スペイン	国債証券	4.9 SPAIN GOVT 400730	5,000,000	18,221.55	911,077,669	18,750.06	937,503,233	4.900000	2040/7/30	2.21
アメリカ	国債証券	3.875 T-BOND 400815	7,000,000	12,477.20	873,404,409	12,670.36	886,925,353	3.875000	2040/8/15	2.09
スペイン	国債証券	5.9 SPAIN GOVT 260730	5,000,000	17,080.58	854,029,383	17,224.80	861,240,092	5.900000	2026/7/30	2.03
イギリス	国債証券	1.75 GILT 190722	5,000,000	14,852.24	742,612,171	14,820.66	741,033,202	1.750000	2019/7/22	1.74
アメリカ	国債証券	4.75 T-BOND 410215	5,000,000	14,044.11	702,205,539	14,250.25	712,512,984	4.750000	2041/2/15	1.68
フランス	社債券	2.25 BNP PARIBAS 210113	5,000,000	13,181.32	659,066,062	13,167.67	658,383,789	2.250000	2021/1/13	1.55
ベルギー	国債証券	1.6 BEL GOVT 470622	5,000,000	12,396.93	619,846,587	12,595.98	629,799,375	1.600000	2047/6/22	1.48
メキシコ	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	90,000,000	613.38	552,049,183	630.84	567,761,886	10.000000	2024/12/5	1.34
アメリカ	国債証券	4.5 T-BOND 360215	4,000,000	13,378.89	535,155,631	13,620.55	544,822,109	4.500000	2036/2/15	1.28
アメリカ	特殊債券	1.625 BK NEDERLAN 210419	5,000,000	10,762.76	538,138,034	10,850.21	542,510,747	1.625000	2021/4/19	1.28
フランス	国債証券	1.25 O.A.T 360525	4,000,000	12,597.42	503,896,998	12,814.69	512,587,625	1.250000	2036/5/25	1.21
アメリカ	社債券	3.875 COOPERATIEV 220208	4,000,000	11,162.71	446,508,524	11,342.71	453,708,400	3.875000	2022/2/8	1.07
アメリカ	国債証券	3.125 T-BOND 430215	4,000,000	11,075.73	443,029,591	11,235.98	449,439,263	3.125000	2043/2/15	1.06

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成31年 2月28日現在

種類	投資比率（％）
国債証券	94.48
特殊債券	1.28
社債券	2.62
合計	98.37

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド

投資状況

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	アメリカ	3,347,181,409	71.37
	イギリス	237,983,728	5.07
	フランス	149,640,573	3.19
	香港	147,136,537	3.14
	ドイツ	134,897,136	2.88
	フィンランド	92,396,583	1.97
	スイス	92,207,246	1.97
	スウェーデン	74,870,944	1.60
	オーストラリア	73,690,354	1.57
	スペイン	66,169,614	1.41
	ノルウェー	58,935,347	1.26
	オランダ	45,396,795	0.97
	ベルギー	31,572,083	0.67
	カナダ	29,540,200	0.63
	デンマーク	29,493,406	0.63
	オーストリア	13,634,321	0.29
	イタリア	10,443,078	0.22
	小計	4,635,189,354	98.83
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	54,803,086	1.17
純資産総額		4,689,992,440	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

平成31年 2月28日現在

国／ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	1,230	176,775.56	217,433,942	181,947.64	223,795,607	4.77
アメリカ	株式	VMWARE INC-CLASS A	ソフトウェア・サービス	8,105	17,581.76	142,500,202	19,514.22	158,162,824	3.37
アメリカ	株式	SALESFORCE.COM INC	ソフトウェア・サービス	8,496	15,193.62	129,085,036	18,085.11	153,651,132	3.28
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	1,093	115,537.62	126,282,627	123,736.46	135,243,955	2.88
アメリカ	株式	COSTAR GROUP INC	商業・専門サービス	2,548	38,338.84	97,687,380	50,371.56	128,346,753	2.74
アメリカ	株式	S&P GLOBAL INC	各種金融	5,027	18,473.15	92,864,572	22,364.69	112,427,329	2.40
アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	6,714	14,977.42	100,558,453	16,322.28	109,587,797	2.34
アメリカ	株式	AUTODESK INC	ソフトウェア・サービス	5,960	14,579.40	86,893,254	18,213.72	108,553,793	2.31
アメリカ	株式	ROPER TECHNOLOGIES INC	資本財	2,953	29,893.87	88,276,622	35,873.09	105,933,256	2.26
アメリカ	株式	ZOETIS INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9,812	9,806.45	96,220,902	10,399.60	102,040,934	2.18
アメリカ	株式	CATERPILLAR INC	資本財	6,373	14,054.98	89,572,450	15,475.23	98,623,670	2.10
アメリカ	株式	CHEVRON CORP	エネルギー	7,073	12,620.33	89,263,609	13,313.26	94,164,756	2.01
アメリカ	株式	SEMPRA ENERGY	公益事業	6,964	13,136.98	91,485,972	13,340.98	92,906,634	1.98
アメリカ	株式	CITIZENS FINANCIAL GROUP	銀行	21,911	3,354.92	73,509,788	4,105.51	89,955,963	1.92
アメリカ	株式	PROGRESSIVE CORP	保険	11,012	6,873.93	75,695,827	8,061.35	88,771,671	1.89
アメリカ	株式	VULCAN MATERIALS CO	素材	6,798	11,047.08	75,098,096	12,429.63	84,496,663	1.80
アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	6,788	11,755.54	79,796,647	12,436.28	84,417,522	1.80
アメリカ	株式	FORTIVE CORP	資本財	9,022	7,634.50	68,878,533	9,059.18	81,731,991	1.74
アメリカ	株式	SBA COMMUNICATIONS CORP	不動産	4,083	19,125.07	78,087,682	20,002.05	81,668,398	1.74
アメリカ	株式	PAYPAL HOLDINGS INC	ソフトウェア・サービス	7,350	9,525.95	70,015,736	10,849.73	79,745,576	1.70
アメリカ	株式	INTUITIVE SURGICAL INC	ヘルスケア機器・サービス	1,200	54,526.97	65,432,370	60,913.08	73,095,704	1.56
アメリカ	株式	CADENCE DESIGN SYS INC	ソフトウェア・サービス	11,380	4,791.80	54,530,699	6,369.48	72,484,699	1.55
オーストラリア	株式	BHP GROUP LTD	素材	23,772	2,570.61	61,108,684	2,989.53	71,067,136	1.52
アメリカ	株式	TEXAS INSTRUMENTS INC	半導体・半導体製造装置	6,000	10,450.60	62,703,637	11,720.06	70,320,406	1.50
アメリカ	株式	CENTENE CORP	ヘルスケア機器・サービス	10,216	7,069.62	72,223,295	6,861.74	70,099,580	1.49
香港	株式	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	14,300	4,362.92	62,389,757	4,807.02	68,740,471	1.47
アメリカ	株式	ULTA BEAUTY INC	小売	1,926	27,368.25	52,711,268	34,049.28	65,578,924	1.40
アメリカ	株式	DR HORTON INC	耐久消費財・アパレル	14,450	3,935.88	56,873,538	4,439.23	64,146,943	1.37

フィンランド	株式	NESTE OYJ	エネルギー	5,835	9,058.30	52,855,213	10,906.78	63,641,090	1.36
アメリカ	株式	CITIGROUP INC	銀行	8,798	6,100.06	53,668,393	7,140.02	62,817,966	1.34

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成31年 2月28日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	エネルギー	3.74
	素材	5.75
	資本財	11.08
	商業・専門サービス	2.74
	運輸	0.99
	自動車・自動車部品	1.13
	耐久消費財・アパレル	2.85
	消費者サービス	0.13
	メディア・娯楽	4.56
	小売	7.77
	食品・生活必需品小売り	1.90
	食品・飲料・タバコ	1.77
	家庭用品・パーソナル用品	0.81
	ヘルスケア機器・サービス	4.71
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.00
	銀行	6.40
	各種金融	4.58
	保険	3.86
	不動産	2.13
	ソフトウェア・サービス	16.65
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.66
	電気通信サービス	1.69
	公益事業	3.01
	半導体・半導体製造装置	1.93
	小計	98.83
合計		98.83

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

マネー・マーケット・マザーファンド

投資状況

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産の種類	国 / 地域	時価合計	投資比率（％）
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）	—	2,785,703,276	100.00
純資産総額		2,785,703,276	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位 30 銘柄

該当事項はありません。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

参考情報

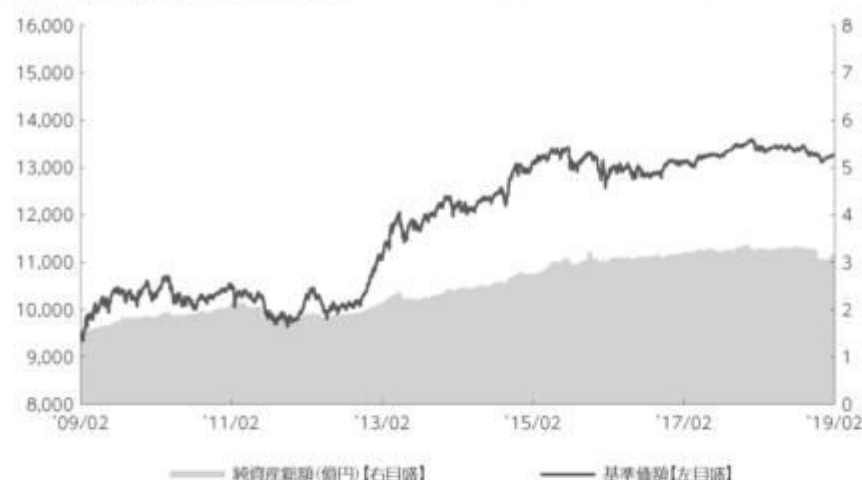


運用実績

2019年2月28日現在

三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020

■基準価額・純資産の推移 2009年2月27日～2019年2月28日



・基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	13,274円
純資産総額	3.1億円

■分配の推移

2019年2月	0円
2018年2月	0円
2017年2月	0円
2016年2月	0円
2015年2月	0円
2014年2月	0円
設定来累計	0円

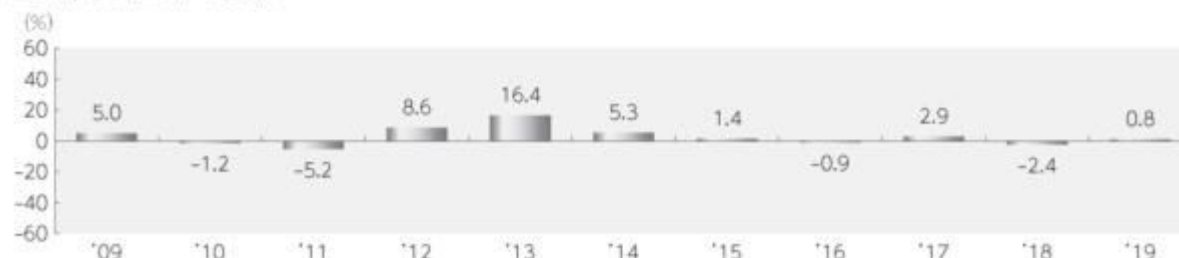
・分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	3.8%	1 円	95.9%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.1%
国内債券	8.5%	2 アメリカドル	2.3%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	0.1%
外国株式	2.1%	3 ユーロ	1.1%	リコー	株式	電気機器	日本	0.1%
外国債券	2.0%	4 イギリスポンド	0.2%	ZOZO	株式	小売業	日本	0.1%
		5 カナダドル	0.1%	AMAZON.COM INC	株式	小売	アメリカ	0.1%
		6 メキシコペソ	0.1%	第28回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	債券	社債	日本	0.2%
		7 香港ドル	0.1%	第49回野村ホールディングス	債券	社債	日本	0.2%
		8 スイスフラン	0.0%	第10回ピー・ピー・シー・イー・エス・イー	債券	社債	日本	0.2%
コールローン他 (負債控除後)	83.6%	9 スウェーデンクローネ	0.0%	第15回パナソニック	債券	社債	日本	0.2%
合計	100.0%	10 オーストラリアドル	0.0%	第19回ルノー	債券	社債	日本	0.2%

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- ・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- ・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- ・外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移

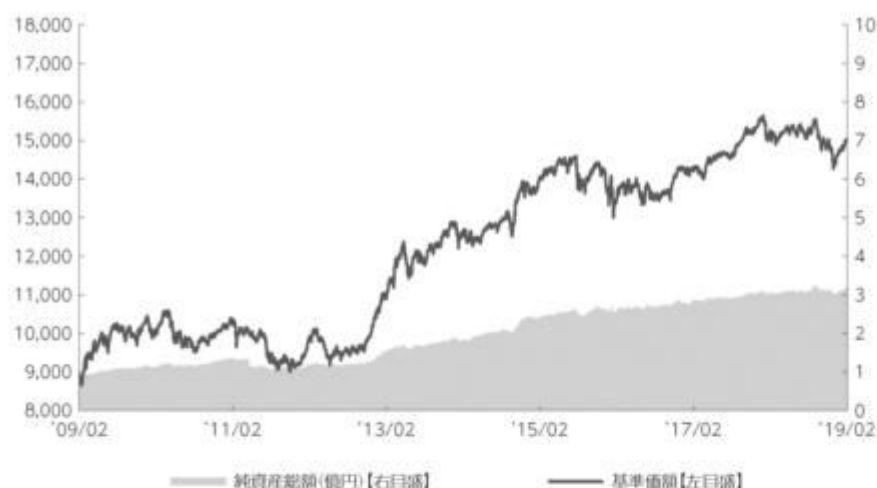


- ・収益率は基準価額で計算
- ・2019年は年初から2月28日までの収益率を表示
- ・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030

■基準価額・純資産の推移 2009年2月27日～2019年2月28日



・基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	15,016円
純資産総額	3.1億円

■分配の推移

2019年2月	0円
2018年2月	0円
2017年2月	0円
2016年2月	0円
2015年2月	0円
2014年2月	0円
設定来累計	0円

・分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種／種別	国・地域	比率
国内株式	20.0%	1 円	79.8%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.7%
国内債券	52.5%	2 アメリカドル	11.4%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	0.7%
外国株式	10.1%	3 ユーロ	5.5%	リコー	株式	電気機器	日本	0.6%
外国債券	9.9%	4 イギリスポンド	1.2%	ZOZO	株式	小売業	日本	0.6%
		5 カナダドル	0.5%	AMAZON.COM INC	株式	小売	アメリカ	0.5%
		6 メキシコペソ	0.4%	第28回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	債券	社債	日本	1.3%
		7 香港ドル	0.3%	第49回野村ホールディングス	債券	社債	日本	1.2%
コールローン他		8 スイスフラン	0.2%	第10回ピー・ピー・シー・イー・エス・エー	債券	社債	日本	1.2%
(負債控除後)	7.5%	9 スウェーデンクローネ	0.2%	第15回パナソニック	債券	社債	日本	1.2%
合計	100.0%	10 オーストラリアドル	0.2%	第19回ルノー	債券	社債	日本	1.2%

・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)

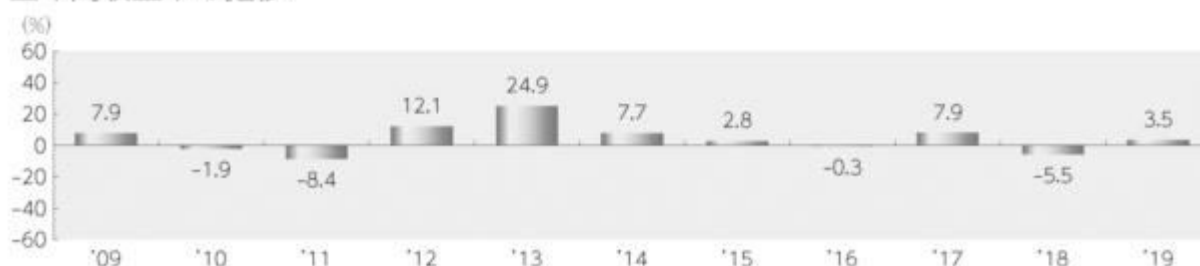
・投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示

・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの

・外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移



・収益率は基準価額で計算

・2019年は年初から2月28日までの収益率を表示

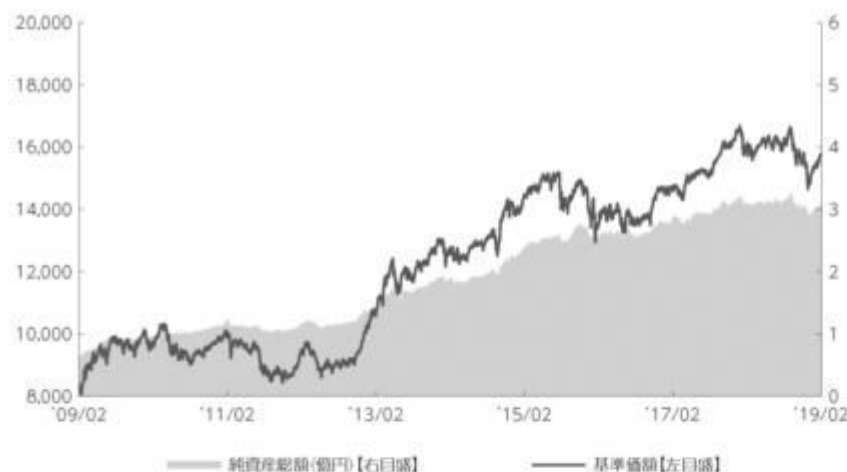
・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2040

■基準価額・純資産の推移 2009年2月27日～2019年2月28日



・基準価額は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■基準価額・純資産

基準価額	15,758円
純資産総額	3.0億円

■分配の推移

2019年2月	0円
2018年2月	0円
2017年2月	0円
2016年2月	0円
2015年2月	0円
2014年2月	0円
設定来累計	0円

・分配金は1万口当たり、税引前

■主要な資産の状況

資産別構成	比率	組入上位通貨	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	29.4%	1 円	74.3%	ソニー	株式	電気機器	日本	1.1%
国内債券	38.4%	2 アメリカドル	15.4%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	1.1%
外国株式	15.7%	3 ユーロ	6.1%	リコー	株式	電気機器	日本	0.9%
外国債券	9.9%	4 イギリスポンド	1.5%	ZOZO	株式	小売業	日本	0.9%
		5 カナダドル	0.6%	AMAZON.COM INC	株式	小売	アメリカ	0.8%
		6 香港ドル	0.5%	第28回三菱東京UFJ銀行(劣後特約付)	債券	社債	日本	0.9%
		7 メキシコペソ	0.4%	第49回野村ホールディングス	債券	社債	日本	0.9%
		8 スイスフラン	0.3%	第10回ピー・ピー・シー・イー・エス・エー	債券	社債	日本	0.9%
コールローン他 (負債控除後)	6.6%	9 スウェーデンクローネ	0.3%	第15回パナソニック	債券	社債	日本	0.9%
合計	100.0%	10 オーストラリアドル	0.3%	第19回ルノー	債券	社債	日本	0.9%

・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)

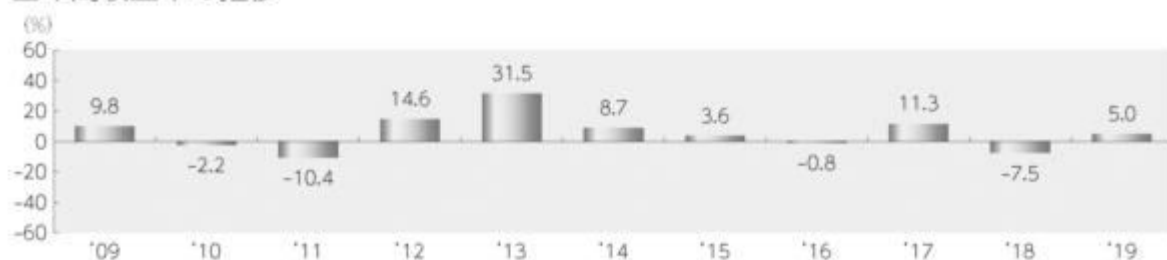
・投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示

・コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

・国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの

・外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移



・収益率は基準価額で計算

・2019年は年初から2月28日までの収益率を表示

・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

申込みの受付

原則として、いつでも申込みができます。

取得申込者の受益権は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

申込単位

1円以上1円単位

申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額

申込価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

申込価額の照会方法

申込価額は、販売会社にてご確認ください。

また、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

申込手数料

ありません。

申込方法

取得申込者は、販売会社取引口座を開設のうえ、申込みを行うものとします。

取得申込者は、申込金額を販売会社が定める日までに支払うものとします。

申込受付時間

取得の申込みは、申込期間において、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。取得申込みが行われ、かつ当該取得申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての申込みに関しては販売会社にご確認ください。

取得申込みの受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた取得申込みの受付を取り消すことがあります。

申込（販売）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

2【換金（解約）手続等】

解約の受付

原則として、いつでも解約の請求ができます。

受益者の解約請求に係る受益権の口数の減少は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

解約単位

1口単位

解約価額

解約請求受付日の翌営業日の基準価額

信託財産留保額

ありません。

解約価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

解約価額の照会方法

解約価額は、販売会社にてご確認ください。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

支払開始日

解約代金は、原則として解約請求受付日から起算して5営業日目から販売会社において支払います。

解約請求受付時間

解約の請求は、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。解約請求が行われ、かつ当該換金請求に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての請求に関しては販売会社にご確認ください。

解約請求受付の中止および取消し

委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受付を中止することおよびすでに受け付けた解約請求を取り消すことがあります。その場合には、受益者は、当該受付中止以前に行った当日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受け付けたものとします。

また、市況動向等により、大口の解約請求に制限を設ける場合があります。

換金（解約）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

3【資産管理等の概要】

（１）【資産の評価】

基準価額の算出方法

基準価額＝信託財産の純資産総額÷受益権総口数

なお、便宜上1万口あたりに換算した価額で表示することがあります。

「信託財産の純資産総額」とは、信託財産に属する資産（受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。）を法令および一般社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額をいいます。

（資産の評価方法）

・株式／上場投資信託証券／不動産投資信託証券

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場（外国で取引されているものについては、原則として、金融商品取引所における計算時に知りうる直近の日の最終相場）で評価します。

・転換社債／転換社債型新株予約権付社債

原則として、金融商品取引所における計算日の最終相場、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額（外国で取引されているものについては、原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業

者・銀行等の提示する価額または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額）で評価します。

・公社債等

原則として、計算日に入手した日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融商品取引業者・銀行等の提示する価額（売気配相場を除く。）または価格情報会社の提供する価額のいずれかの価額で評価します。

残存期間１年以内の公社債等については、一部償却原価法による評価を適用することができます。

・マザーファンド

計算日における基準価額で評価します。

・投資信託証券（上場投資信託証券／不動産投資信託証券を除く。）

原則として、計算日に知りうる直近の日の基準価額で評価します。

・外貨建資産

原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円換算します。

・外国為替予約取引

原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値により評価します。

・市場デリバティブ取引

原則として、金融商品取引所が発表する計算日の清算値段等で評価します。

基準価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

基準価額の照会方法

基準価額は、販売会社にてご確認いただけます。

なお、下記においてもご照会いただけます。

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

（２）【保管】

該当事項はありません。

（３）【信託期間】

無期限（2001年11月14日設定）

ただし、後記「ファンドの償還条件等」の規定によりファンドを償還させることがあります。

（４）【計算期間】

毎年２月15日から翌年２月14日まで

ただし、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日の場合、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

なお、最終計算期間の終了日は、ファンドの信託期間の終了日とします。

（５）【その他】

ファンドの償還条件等

委託会社は、以下の場合には、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、ファンドを償還させることができます。（任意償還）

- ・各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合
- ・信託期間中において、ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき

このほか、監督官庁よりファンドの償還の命令を受けたとき、委託会社の登録取消・解散・業務廃止のときは、原則として、ファンドを償還させます。

委託会社は、ファンドを償還しようとするときは、あらかじめその旨を監督官庁に届け出ます。

信託約款の変更

委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、法令および信託約款に定める手続きにしたがい、受託会社と合意のうえ、信託約款を変更することができます。委託会社は、信託約款を変更しようとするときは、あらかじめその旨を監督官庁に届け出ます。

委託会社は、監督官庁の命令に基づいて信託約款を変更しようとするときは、上記の手続きにしたがいます。

ファンドの償還等に関する開示方法

委託会社は、ファンドの任意償還または信託約款の変更のうち重大な内容の変更を行おうとする場合、あらかじめその旨およびその内容を公告し、かつ、原則としてこれらの事項を記載した書面を受益者に交付します（ただし、この信託約款に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。）。この公告および書面には、原則として、受益者で異議のあるものは一定の期間内に委託会社に対して異議を述べるべき旨を付記します。

異議申立ておよび反対者の買取請求権

受益者は、委託会社がファンドの任意償還または信託約款について重大な内容の変更を行おうとする場合、原則として、一定の期間（１ヵ月以上）内に委託会社に対して異議を述べるすることができます。異議を述べた受益者は、受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、信託財産をもって買い取るべき旨を請求することができます。なお、一定の期間内に異議を述べた受益者の受益権の口数が受益権の総口数の２分の１を超えるとときは、ファンドの償還または信託約款の変更を行いません。その場合、償還しない旨または信託約款を変更しない旨およびその理由を公告し、かつ、原則として、これらの事項を記載した書面を受益者に交付します（ただし、この信託契約に係るすべての受益者に対して書面を交付したときは、原則として、公告を行いません。）。

関係法人との契約の更改

委託会社と販売会社との間で締結された「投資信託受益権の取扱に関する契約」の契約期間は、契約締結日から１年とします。ただし双方から契約満了日の３ヵ月前までに別段の意思表示のないときは、さらに１年間延長するものとし、その後も同様とします。

運用報告書

委託会社は、毎計算期間の末日および償還時に、交付運用報告書を作成し、原則として受益者に交付します。なお、信託約款の内容に委託会社が重要と判断した変更、ファンドの任意償還等があった場合は、その内容を交付運用報告書に記載します。

委託会社の事業の譲渡および承継に伴う取扱い

委託会社は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を譲渡することがあります。また、委託会社は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この信託契約に関する事業を承継させることがあります。

受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社はその任務に背いた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、または裁判所が受託会社を

解任した場合、委託会社は、信託約款の規定にしたがい、新受託会社を選任します。委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はファンドを償還させます。

信託事務の再信託

受託会社は、ファンドに係る信託事務の処理の一部について再信託受託会社と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託に係る契約書類に基づいて所定の事務を行います。

公告

委託会社が受益者に対してする公告は、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。

<https://www.am.mufg.jp/>

なお、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合の公告は、日本経済新聞に掲載します。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は以下の通りです。

（１）収益分配金に対する受領権

受益者は、収益分配金を持ち分に应じて受領する権利を有します。

収益分配金は、「累積投資契約」に基づいて、決算日の基準価額により自動的に無手数料で全額再投資されます。

（２）償還金に対する受領権

受益者は、償還金を持ち分に应じて受領する権利を有します。

償還金は、信託終了日後１ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日（休業日の場合は翌営業日）から起算して５営業日以内）から、販売会社において、受益者に支払います。

ただし、受益者が、償還金について支払開始日から１０年間その支払いの請求を行わない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属します。

（３）換金（解約）請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき、換金（解約）請求する権利を有します。

くわしくは「第２ 管理及び運営 ２ 換金（解約）手続等」を参照してください。

第3【ファンドの経理状況】

- 1 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- 2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（平成30年2月15日から平成31年2月14日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０２０】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	6,882,951	11,527,432
親投資信託受益証券	323,512,081	305,859,506
流動資産合計	330,395,032	317,386,938
資産合計	330,395,032	317,386,938
負債の部		
流動負債		
未払解約金	897,913	55,620
未払受託者報酬	142,850	139,634
未払委託者報酬	1,821,337	1,780,295
未払利息	7	18
その他未払費用	6,366	6,250
流動負債合計	2,868,473	1,981,817
負債合計	2,868,473	1,981,817
純資産の部		
元本等		
元本	245,085,376	237,989,920
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	82,441,183	77,415,201
（分配準備積立金）	32,568,941	27,740,491
元本等合計	327,526,559	315,405,121
純資産合計	327,526,559	315,405,121
負債純資産合計	330,395,032	317,386,938

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
営業収益		
受取利息	31	14
有価証券売買等損益	10,436,820	1,173,377
営業収益合計	10,436,851	1,173,391
営業費用		
支払利息	2,326	4,459
受託者報酬	281,568	280,379
委託者報酬	3,589,948	3,574,728
その他費用	12,549	12,575
営業費用合計	3,886,391	3,872,141
営業利益又は営業損失（ ）	6,550,460	2,698,750
経常利益又は経常損失（ ）	6,550,460	2,698,750
当期純利益又は当期純損失（ ）	6,550,460	2,698,750
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	1,087,620	134,540
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	75,489,407	82,441,183
剰余金増加額又は欠損金減少額	13,968,762	10,595,198
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	13,968,762	10,595,198
剰余金減少額又は欠損金増加額	12,479,826	13,056,970
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	12,479,826	13,056,970
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	82,441,183	77,415,201

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
１．期首元本額	243,334,087円	245,085,376円
期中追加設定元本額	41,800,424円	31,699,083円
期中一部解約元本額	40,049,135円	38,794,539円
２．受益権の総数	245,085,376口	237,989,920口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>1,027,234円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>4,435,606円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>79,417,255円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>27,106,101円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>111,986,196円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>245,085,376口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>4,569円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>—円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	1,027,234円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	4,435,606円	収益調整金額	C	79,417,255円	分配準備積立金額	D	27,106,101円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	111,986,196円	当ファンドの期末残存口数	F	245,085,376口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	4,569円	1万口当たり分配金額	H	—円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円	<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>—円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>81,012,143円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>27,740,491円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>108,752,634円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>237,989,920口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>4,569円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>—円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	—円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	81,012,143円	分配準備積立金額	D	27,740,491円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	108,752,634円	当ファンドの期末残存口数	F	237,989,920口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	4,569円	1万口当たり分配金額	H	—円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	1,027,234円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	4,435,606円																																																											
収益調整金額	C	79,417,255円																																																											
分配準備積立金額	D	27,106,101円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	111,986,196円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	245,085,376口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	4,569円																																																											
1万口当たり分配金額	H	—円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	—円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	81,012,143円																																																											
分配準備積立金額	D	27,740,491円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	108,752,634円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	237,989,920口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	4,569円																																																											
1万口当たり分配金額	H	—円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円																																																											

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左

区分	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	4,475,905	1,971,792
合計	4,475,905	1,971,792

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
1口当たり純資産額	1.3364円	1.3253円
(1万口当たり純資産額)	(13,364円)	(13,253円)

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益 証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド	14,068,813	18,054,507	
	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド	32,321,808	47,105,802	
	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド	5,138,240	10,052,966	
	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	3,384,664	9,796,233	
	マネー・マーケット・マザーファンド	216,881,075	220,849,998	
合計		271,794,600	305,859,506	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０３０】

(１) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	6,011,998	17,395,118
親投資信託受益証券	296,143,674	297,947,285
流動資産合計	302,155,672	315,342,403
資産合計	302,155,672	315,342,403
負債の部		
流動負債		
未払解約金	375,850	156,985
未払受託者報酬	130,081	135,065
未払委託者報酬	2,146,284	2,228,488
未払利息	6	28
その他未払費用	5,793	6,071
流動負債合計	2,658,014	2,526,637
負債合計	2,658,014	2,526,637
純資産の部		
元本等		
元本	199,730,707	210,031,101
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 ()	99,766,951	102,784,665
(分配準備積立金)	49,294,230	46,752,232
元本等合計	299,497,658	312,815,766
純資産合計	299,497,658	312,815,766
負債純資産合計	302,155,672	315,342,403

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
営業収益		
受取利息	30	13
有価証券売買等損益	19,786,768	2,311,312
営業収益合計	19,786,798	2,311,325
営業費用		
支払利息	2,299	5,024
受託者報酬	253,261	266,067
委託者報酬	4,178,608	4,389,987
その他費用	11,276	11,994
営業費用合計	4,445,444	4,673,072
営業利益又は営業損失（ ）	15,341,354	2,361,747
経常利益又は経常損失（ ）	15,341,354	2,361,747
当期純利益又は当期純損失（ ）	15,341,354	2,361,747
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	1,307,559	30,661
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	81,704,064	99,766,951
剰余金増加額又は欠損金減少額	14,384,394	10,824,758
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	14,384,394	10,824,758
剰余金減少額又は欠損金増加額	10,355,302	5,414,636
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	10,355,302	5,414,636
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	99,766,951	102,784,665

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
１．期首元本額	193,719,580円	199,730,707円
期中追加設定元本額	30,452,068円	21,118,698円
期中一部解約元本額	24,440,941円	10,818,304円
２．受益権の総数	199,730,707口	210,031,101口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>2,716,033円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>11,317,762円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>83,272,247円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>35,260,435円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>132,566,477円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>199,730,707口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>6,637円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>—円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	2,716,033円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	11,317,762円	収益調整金額	C	83,272,247円	分配準備積立金額	D	35,260,435円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	132,566,477円	当ファンドの期末残存口数	F	199,730,707口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	6,637円	1万口当たり分配金額	H	—円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円	<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>—円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>92,684,192円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>46,752,232円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>139,436,424円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>210,031,101口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>6,638円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>—円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	—円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	92,684,192円	分配準備積立金額	D	46,752,232円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	139,436,424円	当ファンドの期末残存口数	F	210,031,101口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	6,638円	1万口当たり分配金額	H	—円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	2,716,033円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	11,317,762円																																																											
収益調整金額	C	83,272,247円																																																											
分配準備積立金額	D	35,260,435円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	132,566,477円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	199,730,707口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	6,637円																																																											
1万口当たり分配金額	H	—円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	—円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	92,684,192円																																																											
分配準備積立金額	D	46,752,232円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	139,436,424円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	210,031,101口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	6,638円																																																											
1万口当たり分配金額	H	—円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円																																																											

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左

区分	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 （円）	当計算期間の損益に含まれた評価差額 （円）
親投資信託受益証券	15,675,101	6,955,839
合計	15,675,101	6,955,839

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
1口当たり純資産額	1.4995円	1.4894円
(1万口当たり純資産額)	(14,995円)	(14,894円)

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益 証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド	51,264,003	65,787,095	
	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド	114,767,519	167,262,182	
	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド	17,148,376	33,550,797	
	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	10,830,671	31,347,211	
合計		194,010,569	297,947,285	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０４０】

(１) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	5,931,663	13,395,327
親投資信託受益証券	302,513,164	292,896,065
流動資産合計	308,444,827	306,291,392
資産合計	308,444,827	306,291,392
負債の部		
流動負債		
未払解約金	82,710	25,986
未払受託者報酬	133,236	133,327
未払委託者報酬	2,364,749	2,366,560
未払利息	6	21
その他未払費用	5,933	5,988
流動負債合計	2,586,634	2,531,882
負債合計	2,586,634	2,531,882
純資産の部		
元本等		
元本	194,291,647	195,026,254
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 ()	111,566,546	108,733,256
(分配準備積立金)	57,653,825	50,724,370
元本等合計	305,858,193	303,759,510
純資産合計	305,858,193	303,759,510
負債純資産合計	308,444,827	306,291,392

（２）【損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
営業収益		
受取利息	30	15
有価証券売買等損益	25,659,876	1,512,260
営業収益合計	25,659,906	1,512,275
営業費用		
支払利息	2,430	4,945
受託者報酬	255,972	266,135
委託者報酬	4,543,185	4,723,869
その他費用	11,398	11,996
営業費用合計	4,812,985	5,006,945
営業利益又は営業損失（ ）	20,846,921	3,494,670
経常利益又は経常損失（ ）	20,846,921	3,494,670
当期純利益又は当期純損失（ ）	20,846,921	3,494,670
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	2,187,816	246,373
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	87,607,128	111,566,546
剰余金増加額又は欠損金減少額	20,279,146	15,202,701
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	20,279,146	15,202,701
剰余金減少額又は欠損金増加額	14,978,833	14,294,948
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	14,978,833	14,294,948
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	111,566,546	108,733,256

（３）【注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１．有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
-------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
１．期首元本額	189,127,935円	194,291,647円
期中追加設定元本額	37,243,910円	25,548,381円
期中一部解約元本額	32,080,198円	24,813,774円
２．受益権の総数	194,291,647口	195,026,254口

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日																																																												
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																												
<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>3,185,955円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>15,473,150円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>94,576,566円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>38,994,720円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>152,230,391円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>194,291,647口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>7,835円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>—円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	3,185,955円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	15,473,150円	収益調整金額	C	94,576,566円	分配準備積立金額	D	38,994,720円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	152,230,391円	当ファンドの期末残存口数	F	194,291,647口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,835円	1万口当たり分配金額	H	—円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円	<table><tr><td>項目</td><td></td><td></td></tr><tr><td>費用控除後の配当等収益額</td><td>A</td><td>—円</td></tr><tr><td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td><td>B</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益調整金額</td><td>C</td><td>102,131,729円</td></tr><tr><td>分配準備積立金額</td><td>D</td><td>50,724,370円</td></tr><tr><td>当ファンドの分配対象収益額</td><td>E=A+B+C+D</td><td>152,856,099円</td></tr><tr><td>当ファンドの期末残存口数</td><td>F</td><td>195,026,254口</td></tr><tr><td>1万口当たり収益分配対象額</td><td>G=E/F*10,000</td><td>7,837円</td></tr><tr><td>1万口当たり分配金額</td><td>H</td><td>—円</td></tr><tr><td>収益分配金金額</td><td>I=F*H/10,000</td><td>—円</td></tr></table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	—円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円	収益調整金額	C	102,131,729円	分配準備積立金額	D	50,724,370円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	152,856,099円	当ファンドの期末残存口数	F	195,026,254口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,837円	1万口当たり分配金額	H	—円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	3,185,955円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	15,473,150円																																																											
収益調整金額	C	94,576,566円																																																											
分配準備積立金額	D	38,994,720円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	152,230,391円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	194,291,647口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,835円																																																											
1万口当たり分配金額	H	—円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	—円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	—円																																																											
収益調整金額	C	102,131,729円																																																											
分配準備積立金額	D	50,724,370円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	152,856,099円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	195,026,254口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	7,837円																																																											
1万口当たり分配金額	H	—円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	—円																																																											

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	第17期 自 平成29年 2月15日 至 平成30年 2月14日	第18期 自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左

区分	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	20,792,759	12,519,422
合計	20,792,759	12,519,422

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	第17期 [平成30年 2月14日現在]	第18期 [平成31年 2月14日現在]
1口当たり純資産額	1.5742円	1.5575円
(1万口当たり純資産額)	(15,742円)	(15,575円)

（４）【附属明細表】

第１ 有価証券明細表

(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	口数	評価額	備考
親投資信託受益証券	三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド	70,870,649	90,948,303	
	三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド	83,290,215	121,387,159	
	三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド	25,465,966	49,824,162	
	三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド	10,619,646	30,736,441	
合計		190,246,476	292,896,065	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。
なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[平成31年 2月14日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	265,676,729
国債証券	5,180,769,900
社債券	3,413,833,000
未収利息	21,104,924
前払費用	1,908,040
流動資産合計	8,883,292,593
資産合計	8,883,292,593
負債の部	
流動負債	

[平成31年 2月14日現在]

未払解約金	23,784,259
未払利息	428
その他未払費用	750
流動負債合計	23,785,437
負債合計	23,785,437
純資産の部	
元本等	
元本	6,079,083,550
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	2,780,423,606
元本等合計	8,859,507,156
純資産合計	8,859,507,156
負債純資産合計	8,883,292,593

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
--------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	[平成31年 2月14日現在]
1. 期首	平成30年 2月15日
期首元本額	5,432,480,258円
期中追加設定元本額	3,303,318,647円
期中一部解約元本額	2,656,715,355円
元本の内訳	
国内債券通貨プラス	1,241,644,363円
三菱ＵＦＪ 日本バランスオープン 株式２０型	972,647,983円
三菱ＵＦＪ 日本バランスオープン 株式４０型	1,127,787,812円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５	387,176,505円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０	441,403,820円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５	131,302,724円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	285,165,583円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ２５ＶＡ（適格機関投資家限定）	58,902,510円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	277,766,378円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定型）	200,728,642円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	135,888,044円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（成長型）	66,233,002円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（積極型）	72,402,679円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０２０	13,353,136円

	[平成31年 2月14日現在]
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０３０	92,072,906円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０４０	65,456,680円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（安定型）	78,431,634円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	109,774,446円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（成長型）	47,575,091円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（積極型）	42,990,070円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０２０	32,321,808円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０３０	114,767,519円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０４０	83,290,215円
合計	6,079,083,550円
２．受益権の総数	6,079,083,550口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
１．金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第２条第４項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
２．金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
３．金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

２ 金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成31年 2月14日現在]
１．貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品

区分	[平成31年 2月14日現在]
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[平成31年 2月14日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
国債証券	89,700,100
社債券	8,438,000
合計	81,262,100

(注) 当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[平成31年 2月14日現在]
1口当たり純資産額	1.4574円
(1万口当たり純資産額)	(14,574円)

附属明細表

第１ 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

（単位：円）

種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	第 5 回利付国債（４０年）	70,000,000	98,003,500	
	第 7 回利付国債（４０年）	70,000,000	92,588,300	
	第 1 0 回利付国債（４０年）	30,000,000	32,093,700	
	第 1 1 回利付国債（４０年）	50,000,000	51,693,000	
	第 3 3 8 回利付国債（１０年）	100,000,000	103,476,000	
	第 3 3 9 回利付国債（１０年）	80,000,000	82,896,800	
	第 3 4 0 回利付国債（１０年）	60,000,000	62,259,600	
	第 3 4 1 回利付国債（１０年）	110,000,000	113,539,800	
	第 3 4 2 回利付国債（１０年）	110,000,000	112,091,100	
	第 3 4 3 回利付国債（１０年）	110,000,000	112,124,100	
	第 3 4 4 回利付国債（１０年）	150,000,000	152,880,000	
	第 3 4 5 回利付国債（１０年）	40,000,000	40,761,200	
	第 3 4 6 回利付国債（１０年）	90,000,000	91,692,000	
	第 3 4 7 回利付国債（１０年）	60,000,000	61,086,600	
	第 3 5 1 回利付国債（１０年）	60,000,000	60,844,200	
	第 3 5 2 回利付国債（１０年）	30,000,000	30,375,000	
	第 2 3 回利付国債（３０年）	40,000,000	54,596,400	
	第 2 6 回利付国債（３０年）	70,000,000	94,979,500	
	第 2 7 回利付国債（３０年）	50,000,000	69,008,500	
	第 2 8 回利付国債（３０年）	20,000,000	27,694,600	
	第 3 0 回利付国債（３０年）	30,000,000	40,713,000	
	第 3 1 回利付国債（３０年）	40,000,000	53,699,200	
	第 3 2 回利付国債（３０年）	40,000,000	54,675,200	
	第 3 3 回利付国債（３０年）	30,000,000	39,345,600	
	第 3 4 回利付国債（３０年）	70,000,000	94,995,600	
	第 3 6 回利付国債（３０年）	50,000,000	66,210,500	
	第 3 7 回利付国債（３０年）	40,000,000	52,259,600	
	第 3 8 回利付国債（３０年）	10,000,000	12,878,100	
	第 3 9 回利付国債（３０年）	50,000,000	65,618,000	
	第 4 2 回利付国債（３０年）	40,000,000	50,814,000	
	第 4 4 回利付国債（３０年）	30,000,000	38,211,900	
	第 4 5 回利付国債（３０年）	20,000,000	24,549,200	
	第 4 6 回利付国債（３０年）	60,000,000	73,677,600	
	第 4 8 回利付国債（３０年）	10,000,000	12,055,900	
	第 4 9 回利付国債（３０年）	40,000,000	48,234,800	
	第 5 0 回利付国債（３０年）	70,000,000	73,951,500	
	第 5 4 回利付国債（３０年）	100,000,000	105,441,000	

第５８回利付国債（３０年）	120,000,000	126,099,600	
第９２回利付国債（２０年）	60,000,000	70,602,600	
第９４回利付国債（２０年）	10,000,000	11,813,600	
第９６回利付国債（２０年）	30,000,000	35,567,100	
第９８回利付国債（２０年）	70,000,000	83,314,000	
第９９回利付国債（２０年）	130,000,000	155,240,800	
第１００回利付国債（２０年）	80,000,000	96,524,800	
第１０３回利付国債（２０年）	60,000,000	73,200,000	
第１０５回利付国債（２０年）	50,000,000	60,247,500	
第１０８回利付国債（２０年）	20,000,000	23,775,600	
第１１０回利付国債（２０年）	70,000,000	84,875,700	
第１１１回利付国債（２０年）	40,000,000	49,075,600	
第１１３回利付国債（２０年）	60,000,000	73,194,000	
第１１４回利付国債（２０年）	40,000,000	48,949,200	
第１１６回利付国債（２０年）	50,000,000	61,924,500	
第１２１回利付国債（２０年）	40,000,000	48,474,400	
第１２３回利付国債（２０年）	40,000,000	49,538,000	
第１２５回利付国債（２０年）	40,000,000	50,154,400	
第１２８回利付国債（２０年）	40,000,000	48,807,600	
第１３０回利付国債（２０年）	40,000,000	48,427,600	
第１３２回利付国債（２０年）	40,000,000	48,024,400	
第１３６回利付国債（２０年）	30,000,000	35,699,100	
第１３７回利付国債（２０年）	50,000,000	60,216,000	
第１４０回利付国債（２０年）	40,000,000	48,260,000	
第１４１回利付国債（２０年）	50,000,000	60,428,500	
第１４３回利付国債（２０年）	60,000,000	71,806,200	
第１４５回利付国債（２０年）	80,000,000	97,000,800	
第１４６回利付国債（２０年）	50,000,000	60,721,500	
第１４７回利付国債（２０年）	50,000,000	60,091,000	
第１４８回利付国債（２０年）	60,000,000	71,320,800	
第１４９回利付国債（２０年）	60,000,000	71,398,200	
第１５０回利付国債（２０年）	70,000,000	82,267,500	
第１５２回利付国債（２０年）	100,000,000	114,517,000	
第１５３回利付国債（２０年）	30,000,000	34,836,300	
第１５４回利付国債（２０年）	60,000,000	68,753,400	
第１５５回利付国債（２０年）	80,000,000	89,049,600	
第１５８回利付国債（２０年）	70,000,000	71,918,700	
第１５９回利付国債（２０年）	40,000,000	41,714,400	
第１６０回利付国債（２０年）	40,000,000	42,381,600	
第１６２回利付国債（２０年）	20,000,000	20,782,200	
第１６４回利付国債（２０年）	30,000,000	30,531,900	
第１６６回利付国債（２０年）	140,000,000	147,229,600	

国債証券 合計		4,470,000,000	5,180,769,900	
社債券	第２３回フランス相互信用連合銀行	100,000,000	99,624,000	
	第１０回ピー・ピー・シー・イー・エス・エー	200,000,000	200,782,000	
	第２回スタンダード・チャータード・ピーエルシー	100,000,000	99,899,000	
	第１回パークレイズ・ピーエルシー期限前償還条項付	100,000,000	99,546,000	
	第１９回ルノー	200,000,000	199,050,000	
	第３回ソシエテ ジェネラル円貨社債（２０１８）	100,000,000	99,374,000	
	UBS GROUP FUNDING（SWITZERLAND）	100,000,000	100,092,000	
	第５回ヤフー	100,000,000	99,840,000	
	第５０回日本電気	100,000,000	100,165,000	
	第１５回パナソニック	200,000,000	200,446,000	
	第１回日本生命２０１７基金	100,000,000	100,184,000	
	第４回三井住友トラスト・パナソニックファイナンス	100,000,000	100,313,000	
	第１回明治安田生命２０１８基金	100,000,000	100,011,000	
	第１１回あおぞら銀行	100,000,000	100,039,000	
	第２８回三菱東京ＵＦＪ銀行（劣後特約付）	200,000,000	205,510,000	
	第３８回日産フィナンシャルサービス	100,000,000	99,969,000	
	第２３回東京センチュリーリース	100,000,000	100,053,000	
	第３回イオンフィナンシャルサービス	100,000,000	100,212,000	
	第７５回アコム	100,000,000	99,848,000	
	第１９回大和証券グループ本社	100,000,000	100,264,000	
	第１回野村ホールディングス無担保社債	100,000,000	99,809,000	
	第４９回野村ホールディングス	300,000,000	301,470,000	
	第５３４回東京電力	100,000,000	101,322,000	
	第５２１回関西電力	100,000,000	99,886,000	
	第４６９回東北電力	100,000,000	105,842,000	
	第２回東京電力パワーグリッド	100,000,000	100,535,000	
	第１２回東京電力パワーグリッド	100,000,000	99,888,000	
	第１６回東京電力パワーグリッド	100,000,000	99,860,000	
社債券 合計		3,400,000,000	3,413,833,000	
合計		7,870,000,000	8,594,602,900	

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[平成31年 2月14日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	88,189,413
株式	8,635,736,760
未収入金	104,579,286
未収配当金	16,316,400
流動資産合計	8,844,821,859
資産合計	8,844,821,859
負債の部	
流動負債	
未払金	109,186,014
未払解約金	7,539,075
未払利息	142
その他未払費用	1,560
流動負債合計	116,726,791
負債合計	116,726,791
純資産の部	
元本等	
元本	6,801,387,105
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	1,926,707,963
元本等合計	8,728,095,068
純資産合計	8,728,095,068
負債純資産合計	8,844,821,859

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
--------------------	---

（貸借対照表に関する注記）

	[平成31年 2月14日現在]
1. 期首	平成30年 2月15日
期首元本額	5,704,991,244円
期中追加設定元本額	3,895,203,068円
期中一部解約元本額	2,798,807,207円
元本の内訳	
三菱ＵＦＪ 日本株式オープン	1,080,811,728円
三菱ＵＦＪ 日本バランスオープン 株式２０型	558,799,167円
三菱ＵＦＪ 日本バランスオープン 株式４０型	1,727,829,887円

	[平成31年 2月14日現在]
三菱ＵＦＪ ライフプラン ２５	111,172,157円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０	434,725,112円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ７５	452,616,963円
三菱ＵＦＪ 日本株式オープンＶＡ（適格機関投資家限定）	439,140,956円
三菱ＵＦＪ ライフプラン ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	280,633,475円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ２５ＶＡ（適格機関投資家限定）	55,399,746円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	797,917,533円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定型）	75,596,971円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	107,273,502円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（成長型）	80,450,154円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（積極型）	119,658,115円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０２０	6,385,159円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０３０	37,347,596円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０４０	53,750,985円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（安定型）	29,813,793円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	86,917,022円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（成長型）	58,091,249円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（積極型）	70,852,370円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０２０	14,068,813円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０３０	51,264,003円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０４０	70,870,649円
合計	6,801,387,105円
２． 受益権の総数	6,801,387,105口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
１．金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
２．金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、株式に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
３．金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

２ 金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成31年 2月14日現在]
１.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
２.時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
３.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[平成31年 2月14日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	433,559,249
合計	433,559,249

(注)当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[平成31年 2月14日現在]
1口当たり純資産額	1.2833円
(1万口当たり純資産額)	(12,833円)

附属明細表

第 1 有価証券明細表

(1) 株式

（単位：円）

	銘 柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
1605	国際石油開発帝石	16,600	1,096.00	18,193,600	
1824	前田建設工業	76,200	1,140.00	86,868,000	
1911	住友林業	46,700	1,414.00	66,033,800	
1951	協和エクシオ	25,400	2,792.00	70,916,800	
2270	雪印メグミルク	30,200	2,691.00	81,268,200	
2871	ニチレイ	35,200	2,733.00	96,201,600	
2875	東洋水産	21,500	4,105.00	88,257,500	
3402	東レ	156,600	781.10	122,320,260	
3864	三菱製紙	186,900	541.00	101,112,900	
3941	レンゴー	89,300	907.00	80,995,100	
4004	昭和電工	16,500	3,915.00	64,597,500	
4063	信越化学工業	8,100	9,480.00	76,788,000	
4114	日本触媒	18,000	7,500.00	135,000,000	
4248	竹本容器	68,000	1,394.00	94,792,000	
4927	ポーラ・オルビスホールディングス	22,300	3,205.00	71,471,500	
4985	アース製薬	23,800	5,000.00	119,000,000	
4502	武田薬品工業	37,400	4,488.00	167,851,200	
4516	日本新薬	1,200	6,950.00	8,340,000	
4523	エーザイ	17,500	8,653.00	151,427,500	
5019	出光興産	17,200	3,760.00	64,672,000	
5105	ＴＯＹＯ ＴＩＲＥ	26,800	1,499.00	40,173,200	
5233	太平洋セメント	18,500	3,755.00	69,467,500	
5480	日本冶金工業	263,800	235.00	61,993,000	
6256	ニューフレアテクノロジー	22,400	5,820.00	130,368,000	
6301	小松製作所	54,000	2,719.50	146,853,000	
6409	キトー	69,300	1,840.00	127,512,000	
4062	イビデン	93,500	1,569.00	146,701,500	
6501	日立製作所	52,200	3,441.00	179,620,200	
6594	日本電産	5,700	13,340.00	76,038,000	
6702	富士通	18,700	7,759.00	145,093,300	

6753	シャープ	96,700	1,248.00	120,681,600	
6758	ソニー	61,000	5,038.00	307,318,000	
6999	K O A	64,100	1,652.00	105,893,200	
7752	リコー	301,800	1,112.00	335,601,600	
7105	三菱ロジスネクスト	91,900	1,366.00	125,535,400	
7203	トヨタ自動車	52,700	6,618.00	348,768,600	
7270	S U B A R U	34,800	2,779.00	96,709,200	
7701	島津製作所	42,900	2,805.00	120,334,500	
7832	バンダイナムコホールディングス	26,900	4,845.00	130,330,500	
9502	中部電力	48,700	1,691.00	82,351,700	
9503	関西電力	45,900	1,561.00	71,649,900	
9007	小田急電鉄	44,300	2,411.00	106,807,300	
9065	山九	17,500	5,380.00	94,150,000	
9143	S Gホールディングス	47,000	3,005.00	141,235,000	
9201	日本航空	21,500	4,034.00	86,731,000	
9303	住友倉庫	46,000	1,415.00	65,090,000	
4676	フジ・メディア・ホールディングス	71,700	1,599.00	114,648,300	
4686	ジャストシステム	46,900	2,551.00	119,641,900	
4689	ヤフー	214,500	317.00	67,996,500	
8056	日本ユニシス	42,300	2,891.00	122,289,300	
9613	エヌ・ティ・ティ・データ	90,800	1,216.00	110,412,800	
9697	カプコン	29,500	2,305.00	67,997,500	
9984	ソフトバンクグループ	15,700	10,805.00	169,638,500	
3038	神戸物産	39,400	3,565.00	140,461,000	
3167	T O K A Iホールディングス	84,900	903.00	76,664,700	
8001	伊藤忠商事	64,400	2,003.50	129,025,400	
8002	丸紅	54,400	788.80	42,910,720	
8058	三菱商事	13,400	3,149.00	42,196,600	
3092	Z O Z O	143,400	1,710.00	245,214,000	
3539	ジャパンミート	39,700	1,710.00	67,887,000	
3563	スシローグローバルホールディングス	6,800	7,220.00	49,096,000	
7564	ワークマン	17,400	7,270.00	126,498,000	
7606	ユナイテッドアローズ	29,000	3,655.00	105,995,000	
9831	ヤマダ電機	120,300	543.00	65,322,900	
8306	三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	277,800	580.10	161,151,780	
8308	りそなホールディングス	256,900	512.00	131,532,800	
8316	三井住友フィナンシャルグループ	43,700	3,970.00	173,489,000	
8473	S B Iホールディングス	42,200	2,245.00	94,739,000	
8698	マネックスグループ	67,400	387.00	26,083,800	
8729	ソニーフィナンシャルホールディングス	71,600	2,094.00	149,930,400	
8439	東京センチュリー	14,800	5,050.00	74,740,000	
3254	プレサンスコーポレーション	36,400	1,362.00	49,576,800	

8802	三菱地所	22,300	1,866.00	41,611,800	
8804	東京建物	70,100	1,318.00	92,391,800	
2157	コシダカホールディングス	89,900	1,509.00	135,659,100	
2440	ぐるなび	75,800	719.00	54,500,200	
6098	リクルートホールディングス	41,700	3,016.00	125,767,200	
6178	日本郵政	85,900	1,337.00	114,848,300	
9616	共立メンテナンス	22,400	5,210.00	116,704,000	
合 計		4,926,600		8,635,736,760	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第 2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第 3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[平成31年 2月14日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	184,451,450
コール・ローン	60,288,113
国債証券	39,816,712,620
特殊債券	542,542,377
社債券	1,105,889,681
未収利息	320,565,557
前払費用	86,761,872
流動資産合計	42,117,211,670
資産合計	
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	12,200
未払解約金	28,492,866
未払利息	97
その他未払費用	318
流動負債合計	28,505,481
負債合計	
純資産の部	
元本等	
元本	14,541,755,744

[平成31年 2月14日現在]

剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	27,546,950,445
元本等合計	42,088,706,189
純資産合計	42,088,706,189
負債純資産合計	42,117,211,670

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[平成31年 2月14日現在]
1. 期首	平成30年 2月15日
期首元本額	15,065,167,255円
期中追加設定元本額	2,386,294,513円
期中一部解約元本額	2,909,706,024円
元本の内訳	
三菱ＵＦＪ バランスインカムオープン（毎月決算型）	4,377,302,965円
三菱ＵＦＪ ＤＣ金利連動アロケーション型バランスファンド	465,207,523円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 25	31,288,764円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 50	61,169,888円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 75	20,336,113円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープン	3,778,199,076円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープン（3ヵ月決算型）	3,763,273,442円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 50VA（適格機関投資家限定）	39,475,708円
三菱ＵＦＪ 海外債券オープンVA（適格機関投資家限定）	86,447,937円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド 25VA（適格機関投資家限定）	118,618,535円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド 50VA（適格機関投資家限定）	561,470,104円
三菱ＵＦＪ国際 海外債券オープン（適格機関投資家限定）	1,111,748,182円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定型）	17,993,943円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	16,540,738円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（成長型）	10,576,815円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（積極型）	6,930,004円

	[平成31年 2月14日現在]
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０２０	1,417,305円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０３０	8,384,179円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０４０	8,147,716円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（安定型）	7,113,916円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	13,510,462円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（成長型）	7,682,615円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（積極型）	4,084,833円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０２０	3,384,664円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０３０	10,830,671円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０４０	10,619,646円
合計	14,541,755,744円
２．受益権の総数	14,541,755,744口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
１．金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
２．金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
３．金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

２ 金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成31年 2月14日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[平成31年 2月14日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
国債証券	425,589,522
特殊債券	3,870,428
社債券	5,726,274
合計	435,186,224

(注) 当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

通貨関連

[平成31年 2月14日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建				
	ユーロ	49,975,800	—	49,988,000	12,200
合計		49,975,800	—	49,988,000	12,200

（注）時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

２ 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[平成31年 2月14日現在]
1口当たり純資産額	2.8943円
(1万口当たり純資産額)	(28,943円)

附属明細表

第１ 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

通貨	種 類	銘 柄	券面総額	評価額	備考
アメリカドル	国債証券	1.375 T-NOTE 200131	15,000,000.00	14,835,351.55	
		1.625 T-NOTE 260215	18,000,000.00	16,860,937.50	
		1.75 T-NOTE 230515	14,000,000.00	13,561,406.25	
		2 T-NOTE 221031	20,000,000.00	19,628,125.00	
		2 T-NOTE 250815	20,000,000.00	19,275,000.00	
		2.25 T-NOTE 210430	12,000,000.00	11,925,000.00	
		2.75 T-NOTE 240215	18,000,000.00	18,180,000.00	
		3 T-BOND 451115	2,000,000.00	1,995,625.00	
		3.125 T-BOND 430215	4,000,000.00	4,080,937.50	
		3.125 T-BOND 440815	3,000,000.00	3,060,234.37	
		3.875 T-BOND 400815	7,000,000.00	8,029,765.62	
		4.5 T-BOND 360215	4,000,000.00	4,919,375.00	

		4.75 T-BOND 410215	5,000,000.00	6,451,171.87	
	国債証券 小計		142,000,000.00	142,802,929.66 (15,848,269,133)	
	特殊債券	1.625 BK NEDERLAN 210419	5,000,000.00	4,888,650.00	
	特殊債券 小計		5,000,000.00	4,888,650.00 (542,542,377)	
	社債券	3.875 COOPERATIEV 220208	4,000,000.00	4,083,725.56	
	社債券 小計		4,000,000.00	4,083,725.56 (453,211,862)	
アメリカドル合計			151,000,000.00	151,775,305.22 (16,844,023,372)	
カナダドル	国債証券	1.5 CAN GOVT 260601	23,000,000.00	22,382,220.00	
カナダドル合計			23,000,000.00	22,382,220.00 (1,874,063,280)	
オーストラリアドル	国債証券	4.75 AUST GOVT 270421	100,000.00	120,245.72	
オーストラリアドル合計			100,000.00	120,245.72 (9,465,743)	
イギリスポンド	国債証券	0.5 GILT 220722	1,000,000.00	991,318.60	
		1.75 GILT 190722	5,000,000.00	5,022,800.00	
		4.25 GILT 320607	2,000,000.00	2,693,640.00	
		4.25 GILT 551207	5,000,000.00	8,661,460.00	
		6 GILT 281207	2,000,000.00	2,896,126.80	
イギリスポンド合計			15,000,000.00	20,265,345.40 (2,890,648,867)	
シンガポールドル	国債証券	3.5 SINGAPORGOVT 270301	1,600,000.00	1,763,520.00	
シンガポールドル合計			1,600,000.00	1,763,520.00 (143,991,408)	
マレーシアリングット	国債証券	3.882 MALAYSIAGOV 220310	3,000,000.00	3,021,643.20	
		3.9 MALAYSIAGOV 261130	3,000,000.00	3,006,735.90	
		4.935 MALAYSIAGOV 430930	1,000,000.00	1,033,084.50	
マレーシアリングット合計			7,000,000.00	7,061,463.60 (192,707,341)	
スウェーデンクローネ	国債証券	1 SWD GOVT 261112	4,000,000.00	4,241,904.00	
		1.5 SWD GOVT 231113	4,000,000.00	4,309,378.00	
		3.5 SWD GOVT 390330	1,000,000.00	1,444,601.00	
		5 SWD GOVT 201201	2,000,000.00	2,196,124.00	
スウェーデンクローネ合計			11,000,000.00	12,192,007.00 (145,938,323)	
	国債証券	1.75 NORWE GOVT 250313	5,000,000.00	5,095,099.00	

ノル ウェー クロー ネ		3.75 NORWE GOVT 210525	2,000,000.00	2,117,400.00	
ノルウェークローネ合計			7,000,000.00	7,212,499.00 (92,392,112)	
メキシコ ペソ	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	90,000,000.00	97,227,900.00	
		6.5 MEXICAN BONOS 220609	80,000,000.00	76,032,800.00	
		7.5 MEXICAN BONOS 270603	30,000,000.00	28,333,500.00	
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	60,000,000.00	57,918,000.00	
メキシコペソ合計			260,000,000.00	259,512,200.00 (1,484,409,784)	
ポーランド ズロチ	国債証券	3.25 POLAND 250725	3,000,000.00	3,152,250.00	
		5.75 POLAND 220923	5,000,000.00	5,671,350.00	
ポーランドズロチ合計			8,000,000.00	8,823,600.00 (254,207,916)	
ユーロ	国債証券	0.25 NETH GOVT 250715	5,000,000.00	5,114,590.00	
		0.45 ITALY GOVT 210601	2,000,000.00	1,986,574.88	
		0.5 BUND 260215	11,000,000.00	11,535,238.00	
		0.75 NETH GOVT 270715	1,000,000.00	1,052,581.00	
		0.95 ITALY GOVT 230301	10,000,000.00	9,762,390.80	
		1 IRISH GOVT 260515	1,000,000.00	1,041,025.40	
		1.25 O.A.T 360525	4,000,000.00	4,072,120.00	
		1.6 BEL GOVT 470622	3,000,000.00	2,982,348.00	
		1.85 ITALY GOVT 240515	11,000,000.00	10,969,464.00	
		1.95 SPAIN GOVT 260430	12,000,000.00	12,935,112.00	
		2 IRISH GOVT 450218	1,000,000.00	1,080,873.00	
		2 O.A.T 480525	3,000,000.00	3,320,201.10	
		2.35 SPAIN GOVT 330730	10,000,000.00	10,703,600.00	
		2.4 IRISH GOVT 300515	1,000,000.00	1,152,948.00	
		2.5 ITALY GOVT 251115	14,000,000.00	14,202,888.00	
		4.5 BEL GOVT 260328	6,000,000.00	7,811,142.00	
		4.75 ITALY GOVT 280901	17,000,000.00	19,950,231.00	
		4.9 SPAIN GOVT 400730	5,000,000.00	7,379,595.00	
		5 ITALY GOVT 400901	1,000,000.00	1,213,386.10	
		5.9 SPAIN GOVT 260730	5,000,000.00	6,811,060.00	
	国債証券 小計		123,000,000.00	135,077,368.28 (16,880,618,713)	
	社債券	2.25 BNP PARIBAS 210113	5,000,000.00	5,222,676.00	
	社債券 小計		5,000,000.00	5,222,676.00 (652,677,819)	
ユーロ合計			128,000,000.00	140,300,044.28 (17,533,296,532)	
合計				41,465,144,678 (41,465,144,678)	

(注1)通貨の種類ごとの小計／合計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入債券 時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
アメリカドル	国債証券 13銘柄	94.09%	38.22%
	特殊債券 1銘柄	3.22%	1.31%
	社債券 1銘柄	2.69%	1.09%
カナダドル	国債証券 1銘柄	100.00%	4.52%
オーストラリアドル	国債証券 1銘柄	100.00%	0.02%
イギリスポンド	国債証券 5銘柄	100.00%	6.97%
シンガポールドル	国債証券 1銘柄	100.00%	0.35%
マレーシアリングgit	国債証券 3銘柄	100.00%	0.46%
スウェーデンクローネ	国債証券 4銘柄	100.00%	0.35%
ノルウェークローネ	国債証券 2銘柄	100.00%	0.22%
メキシコペソ	国債証券 4銘柄	100.00%	3.58%
ポーランドズロチ	国債証券 2銘柄	100.00%	0.61%
ユーロ	国債証券 20銘柄	96.28%	40.71%
	社債券 1銘柄	3.72%	1.57%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。

三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
[平成31年 2月14日現在]	
資産の部	
流動資産	
預金	63,340,549
コール・ローン	17,858,502
株式	4,602,791,885
未収入金	16,957,484
未収配当金	4,007,258
流動資産合計	4,704,955,678

[平成31年 2月14日現在]

資産合計	4,704,955,678
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	90,000
未払解約金	21,790,071
未払利息	28
その他未払費用	450
流動負債合計	21,880,549
負債合計	21,880,549
純資産の部	
元本等	
元本	2,393,583,787
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	2,289,491,342
元本等合計	4,683,075,129
純資産合計	4,683,075,129
負債純資産合計	4,704,955,678

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

	[平成31年 2月14日現在]
1. 期首	平成30年 2月15日
期首元本額	2,408,024,120円
期中追加設定元本額	940,205,279円
期中一部解約元本額	954,645,612円
元本の内訳	
三菱ＵＦＪ ライフプラン 25	52,121,636円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 50	199,970,759円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 75	206,868,320円
三菱ＵＦＪ 海外株式オープン	458,300,576円
三菱ＵＦＪ 海外株式オープンＶＡ（適格機関投資家限定）	449,614,510円
三菱ＵＦＪ ライフプラン 50 ＶＡ（適格機関投資家限定）	129,035,299円
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド 25 ＶＡ（適格機関投資家限定）	37,679,366円

	[平成31年 2月14日現在]
三菱ＵＦＪ 世界バランスファンド ５０ＶＡ（適格機関投資家限定）	539,974,448円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定型）	26,693,557円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（安定成長型）	36,831,002円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（成長型）	31,352,213円
三菱ＵＦＪ ライフ・バランスファンド（積極型）	50,904,926円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０２０	2,110,061円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０３０	12,497,518円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０４０	18,737,162円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（安定型）	10,272,729円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（安定成長型）	29,474,091円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（成長型）	22,928,661円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ライフ・バランスファンド（積極型）	30,464,371円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０２０	5,138,240円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０３０	17,148,376円
三菱ＵＦＪ <ＤＣ>ターゲット・イヤー ファンド ２０４０	25,465,966円
合計	2,393,583,787円
２．受益権の総数	2,393,583,787口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
１．金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第２条第４項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
２．金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、株式に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。 また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。
３．金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

２ 金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成31年 2月14日現在]
１．貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
２．時価の算定方法	（１）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 （２）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
３．金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	[平成31年 2月14日現在]
	当期間の損益に含まれた評価差額（円）
株式	372,602,685
合計	372,602,685

（注）当期間の開始日は、当該親投資信託の期首日であります。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

通貨関連

[平成31年 2月14日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売建 アメリカドル	22,104,000	—	22,194,000	90,000
合計		22,104,000	—	22,194,000	90,000

（注）時価の算定方法

- １ 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

２ 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（１口当たり情報）

	[平成31年 2月14日現在]
1口当たり純資産額	1.9565円
(1万口当たり純資産額)	(19,565円)

附属明細表

第１ 有価証券明細表

(1) 株式

（単位：円）

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
アメリカドル	CHEVRON CORP	7,073	119.57	845,718.61	
	MARATHON PETROLEUM CORP	2,500	63.65	159,125.00	
	SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	860	433.99	373,231.40	
	VULCAN MATERIALS CO	7,518	105.89	796,081.02	
	CATERPILLAR INC	6,373	133.10	848,246.30	
	FLUOR CORP	11,163	36.12	403,207.56	
	FORTIVE CORP	9,022	80.44	725,729.68	
	ROPER TECHNOLOGIES INC	2,953	309.34	913,481.02	
	COSTAR GROUP INC	2,548	406.95	1,036,908.60	
	FEDEX CORP	537	185.62	99,677.94	
	AUTOLIV INC	1,789	76.38	136,643.82	
	DR HORTON INC	14,450	40.17	580,456.50	
	ALPHABET INC-CL C	1,138	1,120.16	1,274,742.08	
	AMAZON.COM INC	1,230	1,640.00	2,017,200.00	

	HOME DEPOT INC	3,050	188.41	574,650.50	
	ULTA BEAUTY INC	2,046	303.95	621,881.70	
	COSTCO WHOLESALE CORP	1,900	212.80	404,320.00	
	SYSCO CORP	5,779	66.53	384,476.87	
	ABIOMED INC	905	361.50	327,157.50	
	ALIGN TECHNOLOGY INC	1,532	251.85	385,834.20	
	CENTENE CORP	10,216	63.69	650,657.04	
	INTUITIVE SURGICAL INC	1,200	533.47	640,164.00	
	ABBVIE INC	7,281	80.79	588,231.99	
	ZOETIS INC	9,812	88.25	865,909.00	
	CITIGROUP INC	8,798	63.04	554,625.92	
	CITIZENS FINANCIAL GROUP	21,911	36.31	795,588.41	
	COMERICA INC	5,791	84.47	489,165.77	
	S&P GLOBAL INC	5,267	197.18	1,038,547.06	
	SCHWAB (CHARLES) CORP	10,874	45.98	499,986.52	
	PROGRESSIVE CORP	11,012	70.80	779,649.60	
	SBA COMMUNICATIONS CORP	4,083	184.34	752,660.22	
	AUTODESK INC	5,960	160.03	953,778.80	
	CADENCE DESIGN SYS INC	11,380	51.36	584,476.80	
	MICROSOFT CORP	6,788	106.81	725,026.28	
	PAYPAL HOLDINGS INC	7,350	94.01	690,973.50	
	SALESFORCE.COM INC	8,496	160.40	1,362,758.40	
	VISA INC-CLASS A SHARES	7,244	143.49	1,039,441.56	
	VMWARE INC-CLASS A	8,365	167.03	1,397,205.95	
	APPLE INC	3,171	170.18	539,640.78	
	T-MOBILE US INC	7,599	69.07	524,862.93	
	SEMPRA ENERGY	6,964	114.24	795,567.36	
	TEXAS INSTRUMENTS INC	6,000	107.15	642,900.00	
	アメリカドル 小計	259,928		29,820,588.19 (3,309,488,877)	
カナダドル	MANULIFE FINANCIAL CORP	15,600	20.93	326,508.00	
	カナダドル 小計	15,600		326,508.00 (27,338,514)	
オーストラリアドル	BHP GROUP LTD	23,772	36.08	857,693.76	
	JB HI-FI LTD	1,545	22.98	35,504.10	
	オーストラリアドル 小計	25,317		893,197.86 (70,312,535)	
イギリスポンド	ANTOFAGASTA PLC	25,420	8.63	219,425.44	
	ASHTED GROUP PLC	8,105	20.07	162,667.35	
	BAE SYSTEMS PLC	30,000	5.17	155,220.00	
	HOWDEN JOINERY GROUP PLC	17,789	5.00	89,051.73	
	INTL CONSOLIDATED AIRLINE-DI	44,234	6.58	291,059.72	

	PERSIMMON PLC	1,497	24.33	36,422.01	
	TUI AG-DI	5,002	8.30	41,556.61	
	ITV PLC	53,354	1.33	71,307.62	
	GLAXOSMITHKLINE PLC	17,180	15.47	265,774.60	
	3I GROUP PLC	17,832	9.30	165,980.25	
	CENTRICA PLC	158,163	1.38	218,660.34	
イギリスポンド 小計		378,576		1,717,125.67 (244,930,805)	
スイスフラン	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	1,168	270.50	315,944.00	
	PARTNERS GROUP HOLDING AG	273	700.00	191,100.00	
	LOGITECH INTERNATIONAL-REG	8,272	36.93	305,484.96	
スイスフラン 小計		9,713		812,528.96 (89,353,809)	
香港ドル	ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H	56,000	44.25	2,478,000.00	
	TENCENT HOLDINGS LTD	14,300	347.80	4,973,540.00	
	AIA GROUP LTD	39,000	74.50	2,905,500.00	
香港ドル 小計		109,300		10,357,040.00 (146,448,545)	
スウェーデンクローネ	SANDVIK AB	10,342	145.35	1,503,209.70	
	SWEDISH MATCH AB	9,390	446.50	4,192,635.00	
	SWEDBANK AB - A SHARES	8,930	206.20	1,841,366.00	
スウェーデンクローネ 小計		28,662		7,537,210.70 (90,220,412)	
ノルウェークローネ	MOWI ASA	15,529	198.50	3,082,506.50	
	TELENOR ASA	10,325	163.80	1,691,235.00	
ノルウェークローネ 小計		25,854		4,773,741.50 (61,151,628)	
デンマーククローネ	NOVO NORDISK A/S-B	5,424	325.00	1,762,800.00	
デンマーククローネ 小計		5,424		1,762,800.00 (29,526,900)	
ユーロ	NESTE OYJ	5,835	86.40	504,144.00	
	ACS ACTIVIDADES CONS Y SERV	6,963	36.52	254,288.76	
	ACS ACTIVIDADES CONS Y-RTS	8,042	0.47	3,806.27	
	HOCHTIEF AG	876	131.10	114,843.60	
	THALES SA	4,558	101.40	462,181.20	
	FERRARI NV	1,782	110.75	197,356.50	
	SCHAEFFLER AG	10,906	7.70	83,976.20	
	ADIDAS AG	1,167	198.65	231,824.55	
	HERMES INTERNATIONAL	315	546.00	171,990.00	
	MONCLER SPA	2,421	34.99	84,710.79	
	INDUSTRIA DE DISENO TEXTIL	3,154	24.92	78,597.68	
	BEIERSDORF AG	1,944	91.60	178,070.40	

L'OREAL	647	222.80	144,151.60	
GALAPAGOS NV	1,726	89.84	155,063.84	
CAIXABANK SA	55,800	2.95	164,889.00	
CREDIT AGRICOLE SA	26,913	9.88	266,035.00	
KBC GROUP NV	1,638	59.26	97,067.88	
RAIFFEISEN BANK INTERNATIONA	4,823	22.69	109,433.87	
ALLIANZ SE-REG	986	185.66	183,060.76	
VONOVIA SE	3,335	43.87	146,306.45	
DASSAULT SYSTEMES SA	898	127.65	114,629.70	
NOKIA OYJ	42,739	5.57	238,056.23	
E.ON SE	15,091	9.59	144,828.32	
ASM INTERNATIONAL NV	3,281	43.85	143,871.85	
ユーロ 小計	205,840		4,273,184.45 (534,019,860)	
合 計	1,064,214		4,602,791,885 (4,602,791,885)	

(注1)通貨の種類ごとの小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

(2)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入株式 時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
アメリカドル	株式 42銘柄	100.00%	71.90%
カナダドル	株式 1銘柄	100.00%	0.59%
オーストラリアドル	株式 2銘柄	100.00%	1.53%
イギリスポンド	株式 11銘柄	100.00%	5.32%
スイスフラン	株式 3銘柄	100.00%	1.94%
香港ドル	株式 3銘柄	100.00%	3.18%
スウェーデンクローネ	株式 3銘柄	100.00%	1.96%
ノルウェークローネ	株式 2銘柄	100.00%	1.33%
デンマーククローネ	株式 1銘柄	100.00%	0.64%
ユーロ	株式 24銘柄	100.00%	11.60%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。

マネー・マーケット・マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）	
[平成31年 2月14日現在]	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	262,341,504
現先取引勘定	2,499,998,431
流動資産合計	2,762,339,935
資産合計	2,762,339,935
負債の部	
流動負債	
未払解約金	4,224
未払利息	422
その他未払費用	468
流動負債合計	5,114
負債合計	5,114
純資産の部	
元本等	
元本	2,712,676,958
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	49,657,863
元本等合計	2,762,334,821
純資産合計	2,762,334,821
負債純資産合計	2,762,339,935

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

[平成31年 2月14日現在]	
1. 期首	平成30年 2月15日
期首元本額	1,248,386,816円
期中追加設定元本額	2,167,518,512円
期中一部解約元本額	703,228,370円
元本の内訳	
三菱ＵＦＪ ＤＣ金利連動アロケーション型バランスファンド	331,154,338円
三菱ＵＦＪ 新興国通貨建て債券ファンド（毎月決算型）	2,280,337円

	[平成31年 2月14日現在]
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> （毎月分配型）	5,874,002円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> （毎月分配型）	1,048,688円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> （毎月分配型）	111,354円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> （毎月分配型）	20,147,276円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> （毎月分配型）	52,804,813円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> （毎月分配型）	635,856円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> （毎月分配型）	3,078,471円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	146,238,320円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> （毎月分配型）	89,620円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> （毎月分配型）	1,033,322円
三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> （毎月分配型）	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド（毎月分配型）	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド（毎月分配型）	1,378,553円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> （毎月分配型）	9,201,705円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> （毎月分配型）	270,734円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース> （毎月分配型）	358,088円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> （毎月分配型）	667,045円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> （毎月分配型）	3,836,590円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> （毎月分配型）	275,663円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	989,684円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> （毎月分配型）	5,850,843円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> （毎月分配型）	2,016,707円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> （毎月分配型）	1,145,161円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> （毎月分配型）	43,682,881円

	[平成31年 2月14日現在]
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ＜資源国バスケット通貨コース＞（毎月分配型）	1,513,806円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ＜アジアバスケット通貨コース＞（毎月分配型）	1,182,898円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ＜マネープールファンド＞	86,664,711円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ＜円コース＞（毎月分配型）	847,016円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ＜ユーロコース＞（毎月分配型）	600,566円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）	992,946円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルリアルコース＞（毎月分配型）	1,193,379円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ＜資源国バスケット通貨コース＞（毎月分配型）	88,852円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ＜マネープールファンド＞	990,677円
三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム（毎月分配型）	19,635,282円
欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	11,400,264円
三菱ＵＦＪ 米国リートファンドＡ＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）	491,836円
三菱ＵＦＪ 米国リートファンドＢ＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	98,368円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜メキシコペソコース＞（毎月分配型）	7,661,389円
ＰＩＭＣＯ ニューワールド円インカムファンド（年２回分配型）	50,290円
ＰＩＭＣＯ ニューワールド米ドルインカムファンド（年２回分配型）	99,465円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜豪ドルコース＞（年２回分配型）	69,757円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜ブラジルリアルコース＞（年２回分配型）	30,457円
ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜メキシコペソコース＞（年２回分配型）	641,668円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ＜メキシコペソコース＞（毎月分配型）	1,559,264円
三菱ＵＦＪ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ＜トルコリラコース＞（毎月分配型）	4,881,309円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ＜米ドルコース＞（毎月分配型）	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ＜メキシコペソコース＞（毎月分配型）	19,658円

	[平成31年 2月14日現在]
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（毎月分配型）	19,658円
三菱ＵＦＪ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり>（毎月決算型）	491,449円
三菱ＵＦＪ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>（毎月決算型）	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>（毎月分配型）	7,717,476円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>（年2回分配型）	211,113円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>（毎月決算型）	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>（年1回決算型）	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>（年1回決算型）	9,829円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	5,504,257円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（毎月分配型）	13,128,307円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	2,424,660円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	9,340,694円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>（毎月分配型）	1,611,189円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（毎月分配型）	6,722,976円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>（毎月分配型）	13,206,980円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（年2回分配型）	2,304,081円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（年2回分配型）	2,664,317円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（年2回分配型）	421,681円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（年2回分配型）	961,645円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>（年2回分配型）	608,110円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（年2回分配型）	734,038円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>（年2回分配型）	601,281円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーパールファンドA>	75,976,747円

	[平成31年 2月14日現在]
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドＢ>	1,355,403円
三菱ＵＦＪノピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>（毎月決算型）	5,144,832円
三菱ＵＦＪノピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）	8,859,081円
三菱ＵＦＪノピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>（年１回決算型）	1,609,969円
三菱ＵＦＪノピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>（年１回決算型）	2,065,331円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｃコース（為替ヘッジなし）（年１回決算型）	79,543円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｄコース（為替ヘッジあり）（年１回決算型）	50,083円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>（毎月分配型）	3,828,727円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>（毎月分配型）	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型）	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>（毎月決算型）	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>（年１回決算型）	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>（年１回決算型）	3,377,211円
ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド<円インカム>（毎月分配型）	8,478,079円
ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド<円インカム>（年２回分配型）	4,145,749円
ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド<米ドルインカム>（毎月分配型）	8,067,104円
ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド<米ドルインカム>（年２回分配型）	3,319,056円
ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（毎月分配型）	20,075,917円
ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（年２回分配型）	1,616,484円
三菱ＵＦＪノＡＭＰ オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム（毎月決算型）	5,899,118円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム（毎月分配型）	10,826,836円
三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム（年２回分配型）	2,026,238円
ＰＩＭＣＯ 米国バンクローンファンド<円インカム>（毎月分配型）	128,636円
ＰＩＭＣＯ 米国バンクローンファンド<円インカム>（年２回分配型）	79,540円
ＰＩＭＣＯ 米国バンクローンファンド<米ドルインカム>（毎月分配型）	1,375,824円
ＰＩＭＣＯ 米国バンクローンファンド<米ドルインカム>（年２回分配型）	698,261円
マルチストラテジー・ファンド（ラップ向け）	491,015円

	[平成31年 2月14日現在]
PIMCO 米国バンクロンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクロンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱ＵＦＪ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型>(毎月決算型)	983円
三菱ＵＦＪ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	983円
三菱ＵＦＪ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)	983円
三菱ＵＦＪ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	983円
三菱ＵＦＪ リート不動産株ファンド<米ドル投資型>(3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱ＵＦＪ リート不動産株ファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	6,324,266円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	2,724,934円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90(限定追加型)2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン(為替ヘッジあり)	19,600円
米国政策テーマ株式オープン(為替ヘッジなし)	1,188,139円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクロンファンド<為替ヘッジあり>(資産成長型)	609,781円
米国バンクロンファンド<為替ヘッジなし>(資産成長型)	305,382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> >(毎月決算型)	3,683,229円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> >(年2回決算型)	17,656,128円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5,843,481円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	25,393,755円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)(年1回決算型)	36,457円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	87,384円
わたしの未来設計<安定重視型>(分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型>(分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型>(分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型>(分配抑制コース)	9,820円
北欧小型株ファンド(為替ヘッジあり)	9,821円
北欧小型株ファンド(為替ヘッジなし)	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円

	[平成31年 2月14日現在]
Navio インド債券ファンド	296,406円
Navio マネーブルファンド	5,562,557円
三菱ＵＦＪ インド債券オープン（毎月決算型）	39,351円
三菱ＵＦＪ／ＡＭＰ オーストラリアＲＥＩＴファンド＜Ｗプレミ アム＞（毎月決算型）	11,293,333円
マネーブルファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	1,038,515,293円
MUAMトピックスリスクコントロール（５％）インデックスファ ンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	7,792,784円
MUAMトピックスリスクコントロール（１０％）インデックス ファンド（ＦＯＦｓ用）（適格機関投資家限定）	95,418,693円
ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	11,784,347円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ａコース（為替ヘッジ なし）	10,766,608円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ｂコース（為替ヘッジ あり）	14,313,901円
三菱ＵＦＪ ターゲット・イヤーファンド ２０２０	153,049,201円
三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０２０	216,881,075円
合計	2,712,676,958円
２． 受益権の総数	2,712,676,958口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

１ 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成30年 2月15日 至 平成31年 2月14日
１．金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。
２．金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。
３．金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

２ 金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成31年 2月14日現在]
１．貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。

区分	[平成31年 2月14日現在]
2.時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、該当事項はありません。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（ 1口当たり情報）

	[平成31年 2月14日現在]
1口当たり純資産額	1.0183円
(1万口当たり純資産額)	(10,183円)

附属明細表

第 1 有価証券明細表
(1)株式

該当事項はありません。

(2)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第２ 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第３ デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

２【ファンドの現況】

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０２０】

【純資産額計算書】

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産総額	317,396,543
負債総額	198,827
純資産総額（ - ）	317,197,716
発行済口数	238,969,563口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.3274
（10,000口当たり）	（13,274）

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０３０】

【純資産額計算書】

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産総額	319,710,829
負債総額	185,134
純資産総額（ - ）	319,525,695
発行済口数	212,784,831口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.5016
（10,000口当たり）	（15,016）

【三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド ２０４０】

【純資産額計算書】

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産総額	308,068,680
負債総額	192,283
純資産総額（ - ）	307,876,397
発行済口数	195,375,192口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.5758
（10,000口当たり）	（15,758）

（参考）

三菱ＵＦＪ 国内債券アクティブマザーファンド

純資産額計算書

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産総額	9,089,677,889
負債総額	137,766,367
純資産総額（ - ）	8,951,911,522
発行済口数	6,136,109,840口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.4589
（10,000口当たり）	（14,589）

三菱ＵＦＪ 国内株式アクティブマザーファンド

純資産額計算書

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産総額	8,923,668,958
負債総額	193,669,811
純資産総額（ - ）	8,729,999,147
発行済口数	6,641,456,766口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.3145
（10,000口当たり）	（13,145）

三菱ＵＦＪ 海外債券アクティブマザーファンド

純資産額計算書

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産総額	42,489,427,153
負債総額	20,605,696
純資産総額（ - ）	42,468,821,457
発行済口数	14,559,474,442口
1口当たり純資産価額（ / ）	2.9169
（10,000口当たり）	（29,169）

三菱ＵＦＪ 海外株式アクティブマザーファンド

純資産額計算書

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産総額	4,701,454,395
負債総額	11,461,955
純資産総額（ - ）	4,689,992,440
発行済口数	2,339,199,755口
1口当たり純資産価額（ / ）	2.0050
（10,000口当たり）	（20,050）

マネー・マーケット・マザーファンド

純資産額計算書

平成31年 2月28日現在

（単位：円）

資産総額	2,786,836,221
負債総額	1,132,945
純資産総額（ - ）	2,785,703,276
発行済口数	2,735,631,674口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.0183
（10,000口当たり）	（10,183）

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

（1）名義書換等

該当事項はありません。

ファンドの受益権の帰属は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されることにより定められ、委託会社は、この信託の受益権を取扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

（2）受益者等に対する特典

該当事項はありません。

（3）譲渡制限の内容

該当事項はありません。

（４）受益権の譲渡

受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。

上記の申請のある場合には、上記の振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、上記の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。

上記の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めたときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

（５）受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

（６）質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権に係る収益分配金の支払い、解約請求の受付け、解約代金および償還金の支払い等については、信託約款の規定のほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

第二部【委託会社等の情報】

第１【委託会社等の概況】

１【委託会社等の概況】

（１）資本金の額等

2019年2月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近５年間における資本金の額の増減はありません。

（２）委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の３分の１以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング１

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング２

運用部から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに係る法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に係る法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

２【事業の内容及び営業の概況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信

託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2019年 2月28日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本 数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	895	12,622,593
追加型公社債投資信託	16	1,162,998
単位型株式投資信託	54	269,122
単位型公社債投資信託	1	6,013
合 計	966	14,060,726

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

（１）財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱ＵＦＪ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和52年大蔵省令第38号）」（以下「中間財務諸表等規則」という。）第38条及び第57条の規定により、中間財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づき作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

（２）監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第33期事業年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第34期事業年度に係る中間会計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）の中間財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより中間監査を受けております。

（１）【貸借対照表】

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)		第33期 (平成30年3月31日現在)	
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	2	69,212,680	2	54,140,307
有価証券		36,210		19,967

前払費用		337,699		362,886
未収入金		35,896		2,109
未収委託者報酬		10,076,022		9,770,529
未収収益	2	659,405	2	674,156
繰延税金資産		446,374		490,903
金銭の信託	2	30,000	2	30,000
その他		113,754		224,645
流動資産合計		80,948,042		65,715,506
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	806,798	1	760,010
器具備品	1	759,446	1	724,852
土地		1,356,000		1,356,000
有形固定資産合計		2,922,245		2,840,863
無形固定資産				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		1,844,549		2,654,296
ソフトウェア仮勘定		608,066		1,097,970
その他		10		-
無形固定資産合計		2,468,448		3,768,090
投資その他の資産				
投資有価証券		24,327,081		26,361,327
関係会社株式		320,136		320,136
長期差入保証金		654,402		627,141
前払年金費用		463,105		434,700
繰延税金資産		711,230		747,085
その他		50,235		45,230
貸倒引当金		23,600		23,600
投資その他の資産合計		26,502,592		28,512,021
固定資産合計		31,893,286		35,120,975
資産合計		112,841,328		100,836,481

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)		第33期 (平成30年3月31日現在)	
(負債の部)				
流動負債				
預り金		166,493		359,176
未払金				
未払収益分配金		108,024		174,333
未払償還金		547,707		456,159
未払手数料	2	4,225,009	2	3,905,670
その他未払金	2	2,355,815	2	4,330,584
未払費用	2	3,061,479	2	4,388,803

未払消費税等	351,670	99,010
未払法人税等	756,668	736,829
賞与引当金	843,729	906,167
役員賞与引当金	100,680	125,343
その他	711,633	842,194
流動負債合計	13,228,909	16,324,272
固定負債		
退職給付引当金	590,154	720,536
役員退職慰労引当金	166,458	187,562
時効後支払損引当金	253,070	254,851
固定負債合計	1,009,684	1,162,951
負債合計	14,238,594	17,487,223
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000,131	2,000,131
資本剰余金		
資本準備金	3,572,096	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712	44,732,712
利益剰余金		
利益準備金	342,589	342,589
その他利益剰余金		
別途積立金	6,998,000	6,998,000
繰越利益剰余金	43,034,713	27,790,911
利益剰余金合計	50,375,303	35,131,500
株主資本合計	97,108,147	81,864,344

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券	1,494,586	1,484,913
評価差額金		
評価・換算差額等合計	1,494,586	1,484,913
純資産合計	98,602,734	83,349,257
負債純資産合計	112,841,328	100,836,481

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第32期 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）		第33期 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）	
営業収益				
委託者報酬		81,709,776		75,423,596
投資顧問料		2,396,020		2,723,458
その他営業収益		25,763		48,215
営業収益合計		84,131,560		78,195,269
営業費用				
支払手数料	2	33,975,255	2	30,906,879
広告宣伝費		731,771		730,784
公告費		482		1,000
調査費				
調査費		1,713,892		1,723,057
委託調査費		13,961,993		13,467,029
事務委託費		984,749		864,916
営業雑経費				
通信費		158,915		178,652
印刷費		699,940		467,973
協会費		51,995		50,251
諸会費		9,887		15,328
事務機器関連費		1,611,608		1,635,079
その他営業雑経費		11,925		23,250
営業費用合計		53,912,419		50,064,204
一般管理費				
給料				
役員報酬		331,997		349,359
給料・手当		6,496,165		6,421,837
賞与引当金繰入		843,729		906,167
役員賞与引当金繰入		100,680		125,343
福利厚生費		1,196,210		1,231,033
交際費		14,843		13,012
旅費交通費		233,159		192,192
租税公課		422,030		410,229
不動産賃借料		706,571		678,182
退職給付費用		441,736		423,171
役員退職慰労引当金繰入		48,393		47,889
固定資産減価償却費		1,030,040		1,115,719
諸経費		474,521		450,299
一般管理費合計		12,340,079		12,364,437
営業利益		17,879,061		15,766,627

(単位：千円)

	第32期 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）		第33期 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）	
営業外収益				

受取配当金		243,048		349,402
有価証券利息		0		-
受取利息	2	4,601	2	483
投資有価証券償還益		260,190		81,580
収益分配金等時効完成分		278,148		91,672
その他		4,383		9,989
営業外収益合計		790,372		533,128
営業外費用				
投資有価証券償還損		11,552		30,114
時効後支払損引当金繰入		-		43,182
事務過誤費		218		10,402
その他		4,357		3,829
営業外費用合計		16,128		87,529
経常利益		18,653,304		16,212,226
特別利益				
投資有価証券売却益		259,137		516,394
ゴルフ会員権売却益		-		7,495
特別利益合計		259,137		523,889
特別損失				
投資有価証券売却損		42,248		105,903
デリバティブ解約損		126,228		-
投資有価証券評価損		157,482		102,096
固定資産除却損	1	13,540	1	54
減損損失	3	48,575		-
特別損失合計		388,075		208,054
税引前当期純利益		18,524,367		16,528,061
法人税、住民税及び事業税	2	5,658,953	2	5,252,224
法人税等調整額		103,169		76,092
法人税等合計		5,762,122		5,176,132
当期純利益		12,762,244		11,351,928

（３）【株主資本等変動計算書】

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				株主資本合計
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
						別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	57,079,782	64,420,372	111,153,216
当期変動額									
剰余金の配当							26,807,312	26,807,312	26,807,312
当期純利益							12,762,244	12,762,244	12,762,244

株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	14,045,068	14,045,068	14,045,068
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,446,576	6,546	1,453,123	112,606,339
当期変動額				
剰余金の配当				26,807,312
当期純利益				12,762,244
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	48,009	6,546	41,462	41,462
当期変動額合計	48,009	6,546	41,462	14,003,605
当期末残高	1,494,586	—	1,494,586	98,602,734

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			株主資本合計
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
						別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147
当期変動額									
剰余金の配当							26,595,731	26,595,731	26,595,731
当期純利益							11,351,928	11,351,928	11,351,928
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	15,243,802	15,243,802	15,243,802
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,494,586	1,494,586	98,602,734
当期変動額			
剰余金の配当			26,595,731
当期純利益			11,351,928
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	9,673	9,673	9,673
当期変動額合計	9,673	9,673	15,253,476
当期末残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257

[注記事項]

（重要な会計方針）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）

(1) 概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

(2) 適用予定日

平成34年3月期の期首から適用します。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(貸借対照表関係)

1. 有形固定資産の減価償却累計額

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
建物	539,649千円	604,123千円
器具備品	1,029,950千円	1,215,234千円

2. 関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
預金	47,798,472千円	41,809,118千円
未収収益	46,963千円	40,621千円
金銭の信託	30,000千円	30,000千円
未払手数料	1,993,055千円	1,577,059千円
その他未払金	2,071,256千円	3,850,734千円

未払費用

456,748千円

430,491千円

（損益計算書関係）

1. 固定資産除却損の内訳

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
建物	2,392千円	—
器具備品	7,791千円	54千円
ソフトウェア	3,356千円	—
計	13,540千円	54千円

2. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
支払手数料	13,862,465千円	11,380,244千円
受取利息	4,375千円	380千円
法人税、住民税及び事業税	4,204,969千円	3,851,536千円

3. 減損損失

当社は、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

場所	用途	種類	減損損失
東京都千代田区（本社）	自社利用ソフトウェア （遊休資産）	ソフトウェア 仮勘定	48,575千円

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグループングとしております。遊休資産については個別資産ごとにグループングを行っております。

当事業年度において、将来の使用見込みがなくなった自社利用ソフトウェアについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、将来の使用見込みがないため、使用価値は零としております。

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

該当事項はありません。

（株主資本等変動計算書関係）

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成28年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,807,312千円
1株当たり配当額	126,700円
基準日	平成28年3月31日
効力発生日	平成28年6月29日

- (2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,595,731千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	125,700円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月29日

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1)配当金支払額

平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,595,731千円
1株当たり配当額	125,700円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月29日

- (2)基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

(リース取引関係)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
1年内	678,116千円	678,116千円
1年超	2,030,029千円	1,351,912千円
合計	2,708,145千円	2,030,029千円

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3)金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2.金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第32期(平成29年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	69,212,680	69,212,680	-
(2) 有価証券	36,210	36,210	-
(3) 未収委託者報酬	10,076,022	10,076,022	-
(4) 投資有価証券	24,189,921	24,189,921	-
資産計	103,514,834	103,514,834	-
(1) 未払手数料	4,225,009	4,225,009	-
負債計	4,225,009	4,225,009	-

第33期(平成30年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	54,140,307	54,140,307	-
(2) 有価証券	19,967	19,967	-
(3) 未収委託者報酬	9,770,529	9,770,529	-
(4) 投資有価証券	26,224,167	26,224,167	-
資産計	90,154,972	90,154,972	-
(1) 未払手数料	3,905,670	3,905,670	-
負債計	3,905,670	3,905,670	-

(注1)金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(3)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券、(4)投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負 債

(1)未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
非上場株式	137,160	137,160

子会社株式	160,600	160,600
関連会社株式	159,536	159,536

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第32期(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	69,212,680	-	-	-
未収委託者報酬	10,076,022	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	36,210	10,703,761	8,324,138	45,606
合計	79,324,912	10,703,761	8,324,138	45,606

第33期(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	54,140,307	-	-	-
未収委託者報酬	9,770,529	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	19,967	13,110,758	8,593,680	68,714
合計	63,930,804	13,110,758	8,593,680	68,714

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載していません。

2. その他有価証券

第32期(平成29年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	17,778,798	15,302,336	2,476,461
	小計	17,778,798	15,302,336	2,476,461
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,447,333	6,769,569	322,236
	小計	6,447,333	6,769,569	322,236
合計		24,226,131	22,071,906	2,154,225

第33期(平成30年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	18,599,111	16,040,884	2,558,227
	小計	18,599,111	16,040,884	2,558,227
貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	7,645,023	8,062,990	417,966
	小計	7,645,023	8,062,990	417,966
合計		26,244,135	24,103,874	2,140,260

3.売却したその他有価証券

第32期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	122,688	82,146	21,570
債券	-	-	-
その他	3,439,009	176,991	20,678
合計	3,561,698	259,137	42,248

第33期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	8,169,769	516,394	105,903
合計	8,169,769	516,394	105,903

4.減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について157,482千円（その他有価証券のその他157,482千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について102,096千円（その他有価証券のその他102,096千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(退職給付関係)

1.採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2.確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,997,931 千円	3,649,089 千円

勤務費用	199,166	184,120
利息費用	22,711	27,829
数理計算上の差異の発生額	40,934	56,895
退職給付の支払額	183,403	188,683
過去勤務費用の発生額	653,618	-
退職給付債務の期末残高	3,649,089	3,729,252

(2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
年金資産の期首残高	2,678,827 千円	2,698,738 千円
期待運用収益	47,553	48,080
数理計算上の差異の発生額	7,066	47,759
事業主からの拠出額	107,823	102,564
退職給付の支払額	142,532	173,748
年金資産の期末残高	2,698,738	2,723,393

(3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
積立型制度の退職給付債務	3,471,120 千円	3,374,562 千円
年金資産	2,698,738	2,723,393
	772,381	651,168
非積立型制度の退職給付債務	177,969	354,690
未積立退職給付債務	950,350	1,005,858
未認識数理計算上の差異	207,810	169,893
未認識過去勤務費用	615,490	550,128
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	127,049	285,836
退職給付引当金	590,154	720,536
前払年金費用	463,105	434,700
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	127,049	285,836

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
勤務費用	199,166 千円	184,120 千円
利息費用	22,711	27,829
期待運用収益	47,553	48,080
数理計算上の差異の費用処理額	54,327	47,053
過去勤務費用の費用処理額	38,127	65,361
その他	28,533	4,780
確定給付制度に係る退職給付費用	295,314	281,066

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額等です。

(5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
債券	62.9 %	62.2 %
株式	33.3	34.7
その他	3.7	3.1
合計	100	100

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
割引率	0.061～0.90%	0.069～0.67%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度146,421千円、当事業年度142,105千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	455,165千円	445,379千円
投資有価証券評価損	242,551	223,512
ゴルフ会員権評価損	295	-
未払事業税	124,367	135,805
賞与引当金	260,374	277,468
役員賞与引当金	11,509	12,235
役員退職慰労引当金	50,969	57,431
退職給付引当金	180,726	220,628
減価償却超過額	19,277	13,690
委託者報酬	217,902	257,879
長期差入保証金	14,803	23,262
時効後支払損引当金	77,490	78,035
連結納税適用による時価評価	236,450	200,331
その他	68,614	82,168
繰延税金資産 小計	1,960,499	2,027,829
評価性引当額	-	-
繰延税金資産 合計	1,960,499	2,027,829
繰延税金負債		
前払年金費用	141,802	133,105

連結納税適用による時価評価	1,447	1,382
その他有価証券評価差額金	659,638	655,348
その他	3	4
繰延税金負債 合計	802,893	789,840
繰延税金資産の純額	1,157,605	1,237,989

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 第32期（平成29年3月31日現在）及び第33期（平成30年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）及び第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）及び第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

（1）財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
----	--------	-----	-----	-------	----------------	-----------	-------	------	----	------

親会社	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	東京都千代田区	2,141,513 百万円	銀行持株会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税 役員の兼任	連結納税に伴う支払	4,204,969 千円	その他未払金	2,071,256 千円
親会社	三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	5,983,874 千円	未払手数料	716,117 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料	662,992 千円	未払費用	352,297 千円
主要株主	(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	7,878,591 千円	未払手数料	1,276,937 千円

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	東京都千代田区	2,141,513 百万円	銀行持株会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に伴う支払	3,851,587 千円	その他未払金	3,850,734 千円
親会社	三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	5,528,131 千円	未払手数料	665,262 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料	664,152 千円	未払費用	348,142 千円

主 要 株 主	㈱三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	5,852,112 千円	未払手数料	921,796 千円
------------------	------------	---------	------------------	-----	--------------------	-------------------------------	-------------------	-----------------	-------	---------------

(注)取引条件及び取引条件の決定方針等

連結納税については、連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

種 類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
同 一 の 親 会 社 を 持 つ 会 社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券㈱	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	6,532,238 千円	未払手数料	933,908 千円

第33期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

種 類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等 の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
--------	------------	-----	-----	-----------	----------------------------	---------------	-------	------	----	------

同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券㈱	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払	6,263,571 千円	未払手数料	907,290 千円
-------------	--------------------------------	-----------------	---------------	-----	----	---	-------------------------------	-----------------	-------	---------------

（注）取引条件及び取引条件の決定方針等

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社（非上場）

（１株当たり情報）

	第32期 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	第33期 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
１株当たり純資産額	466,028.30円	393,935.45円
１株当たり当期純利益金額	60,318.47円	53,652.87円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第32期 （自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）	第33期 （自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）
当期純利益金額（千円）	12,762,244	11,351,928
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る当期純利益金額 （千円）	12,762,244	11,351,928
普通株式の期中平均株式数（株）	211,581	211,581

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

（単位：千円）

第34期中間会計期間
（平成30年9月30日現在）

（資産の部）

流動資産

現金及び預金	46,097,117
有価証券	3,465,878

前払費用		508,670
未収入金		114,195
未収委託者報酬		10,467,520
未収収益		631,208
金銭の信託		30,000
その他		160,228
流動資産合計		61,474,819
固定資産		
有形固定資産		
建物	1	639,152
器具備品	1	656,022
土地		628,433
有形固定資産合計		1,923,608
無形固定資産		
電話加入権		15,822
ソフトウェア		2,634,028
ソフトウェア仮勘定		1,536,952
無形固定資産合計		4,186,802
投資その他の資産		
投資有価証券		21,198,707
関係会社株式		320,136
投資不動産	1	826,671
長期差入保証金		613,037
前払年金費用		424,967
繰延税金資産		1,265,831
その他		45,230
貸倒引当金		23,600
投資その他の資産合計		24,670,982
固定資産合計		30,781,393
資産合計		92,256,213

(単位：千円)

第34期中間会計期間
(平成30年9月30日現在)

(負債の部)

流動負債		
預り金		224,194
未払金		
未払収益分配金		155,174
未払償還金		454,125
未払手数料		4,195,495
その他未払金		2,309,988
未払費用		3,556,319
未払消費税等	2	333,072
未払法人税等		723,164
賞与引当金		881,975

役員賞与引当金	70,050
その他	931,859
流動負債合計	13,835,420
固定負債	
長期未払金	43,200
退職給付引当金	787,034
役員退職慰労引当金	118,643
時効後支払損引当金	250,090
固定負債合計	1,198,968
負債合計	15,034,389
(純資産の部)	
株主資本	
資本金	2,000,131
資本剰余金	
資本準備金	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712
利益剰余金	
利益準備金	342,589
その他利益剰余金	
別途積立金	6,998,000
繰越利益剰余金	21,681,136
利益剰余金合計	29,021,726
株主資本合計	75,754,570

(単位：千円)

第34期中間会計期間 (平成30年9月30日現在)	
評価・換算差額等	
その他有価証券	1,467,253
評価差額金	
評価・換算差額等合計	1,467,253
純資産合計	77,221,823
負債純資産合計	92,256,213

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

第34期中間会計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	
営業収益	
委託者報酬	36,137,201
投資顧問料	1,348,173
その他営業収益	10,117
営業収益合計	37,495,493

営業費用		
支払手数料		14,727,452
広告宣伝費		341,268
公告費		250
調査費		
調査費		894,565
委託調査費		6,331,927
事務委託費		477,661
営業雑経費		
通信費		88,950
印刷費		221,937
協会費		24,807
諸会費		8,174
事務機器関連費		861,234
営業費用合計		23,978,229
一般管理費		
給料		
役員報酬		172,324
給料・手当		2,826,697
賞与引当金繰入		881,975
役員賞与引当金繰入		70,050
福利厚生費		614,206
交際費		6,039
旅費交通費		98,159
租税公課		208,364
不動産賃借料		330,556
退職給付費用		215,629
役員退職慰労引当金繰入		25,499
固定資産減価償却費	1	595,226
諸経費		232,738
一般管理費合計		6,277,466
営業利益		7,239,797

(単位：千円)

第34期中間会計期間

(自 平成30年4月1日

至 平成30年9月30日)

営業外収益		
受取配当金		135,921
受取利息		205
投資有価証券償還益		8,893
収益分配金等時効完成分		39,613
受取賃貸料		5,484
その他		10,239
営業外収益合計		200,357
営業外費用		
投資有価証券償還損		16,309
賃貸関連費用	1	25,983

その他	528
営業外費用合計	42,820
経常利益	7,397,334
特別利益	
投資有価証券売却益	420,066
特別利益合計	420,066
特別損失	
投資有価証券売却損	80,356
投資有価証券評価損	62,310
固定資産除却損	3,345
商標使用料	90,000
特別損失合計	236,012
税引前中間純利益	7,581,388
法人税、住民税及び事業税	2,347,830
法人税等調整額	20,048
法人税等合計	2,327,781
中間純利益	5,253,606

(3) 中間株主資本等変動計算書

第34期中間会計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				株主資本合計
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
						別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344
当中間期変動額									
剰余金の配当							11,363,380	11,363,380	11,363,380
中間純利益							5,253,606	5,253,606	5,253,606
株主資本以外 の項目の当中 間 期 変 動 額 (純額)									
当中間期変動額 合計	—	—	—	—	—	—	6,109,774	6,109,774	6,109,774
当中間期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	21,681,136	29,021,726	75,754,570

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257
当中間期変動額			
剰余金の配当			11,363,380
中間純利益			5,253,606
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	17,659	17,659	17,659
当中間期変動額合計	17,659	17,659	6,127,434
当中間期末残高	1,467,253	1,467,253	77,221,823

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 2年～20年

投資不動産 3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に

備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

[表示方法の変更]

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当中間会計期間の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

[注記事項]

（中間貸借対照表関係）

1 減価償却累計額

	第34期中間会計期間 (平成30年9月30日現在)
建物	524,318千円
器具備品	1,274,989千円
投資不動産	133,640千円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

（中間損益計算書関係）

1 減価償却実施額

	第34期中間会計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
有形固定資産	111,368千円
無形固定資産	483,858千円
投資不動産	724千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第34期中間会計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当中間会計期間 増加株式数 (株)	当中間会計期間 減少株式数 (株)	当中間会計期間末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581

合計	211,581	-	-	211,581
----	---------	---	---	---------

2. 配当に関する事項

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

（リース取引関係）

第34期中間会計期間(平成30年9月30日現在)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年内	677,036千円
1年超	1,013,934千円
合 計	1,690,971千円

（金融商品関係）

第34期中間会計期間(平成30年9月30日現在)

金融商品の時価等に関する事項

平成30年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

	中間貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	46,097,117	46,097,117	-
(2) 有価証券	3,465,878	3,465,878	-
(3) 未収委託者報酬	10,467,520	10,467,520	-
(4) 投資有価証券	21,061,547	21,061,547	-
資産計	81,092,063	81,092,063	-
(1) 未払手数料	4,195,495	4,195,495	-
負債計	4,195,495	4,195,495	-

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(3)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券、(4)投資有価証券

これらの時価について、投資信託は基準価額によっております。

負 債

(1)未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注２）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式（中間貸借対照表計上額137,160千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

（注３）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

（有価証券関係）

第34期中間会計期間（平成30年9月30日現在）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

	種類	中間貸借対照表 計上額（千円）	取得原価 （千円）	差額（千円）
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	17,134,450	14,614,710	2,519,740
	小 計	17,134,450	14,614,710	2,519,740
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	7,392,975	7,797,908	404,933
	小 計	7,392,975	7,797,908	404,933
合 計		24,527,425	22,412,618	2,114,807

（注）非上場株式（中間貸借対照表計上額137,160千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第34期中間会計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第34期中間会計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（１）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（２）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第34期中間会計期間 (平成30年9月30日現在)
1株当たり純資産額	364,975.22円
(算定上の基礎)	
純資産の部の合計額(千円)	77,221,823
普通株式に係る中間期末の純資産額(千円)	77,221,823
1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末の普通株式の数(株)	211,581

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第34期中間会計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
1株当たり中間純利益金額	24,830.23円
(算定上の基礎)	
中間純利益金額(千円)	5,253,606
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る中間純利益金額(千円)	5,253,606
普通株式の期中平均株式数(株)	211,581

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと(投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。)

通常取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業

者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下において同じ。）または子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引または店頭デリバティブ取引を行うこと。

委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。

上記に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

5【その他】

定款の変更等

定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

訴訟事件その他重要事項

該当事項はありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

名称：三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）

資本金の額：324,279百万円（2018年9月末現在）

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額 (2018年9月末現在)	事業の内容
株式会社三菱ＵＦＪ銀行	1,711,958 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社百五銀行	20,000 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社広島銀行	54,573 百万円	銀行業務を営んでいます。
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んでいます。
日本生命保険相互会社	1,350,000 百万円	生命保険業務を営んでいます。

日本生命保険相互会社の資本金の額は「基金」および「基金償却積立金」の合計額を記載しております。

2【関係業務の概要】

(1) 受託会社：ファンドの受託会社として、信託財産の保管・管理等を行います。

(2) 販売会社：ファンドの募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱い等を行います。

3【資本関係】

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。（2019年2月末現在）

三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%（211,581株）を所有しています。

（注）関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

第３【参考情報】

ファンドについては、当計算期間において以下の書類が提出されております。

提出年月日	提出書類
2018年 5月11日	有価証券届出書
2018年 5月11日	有価証券報告書
2018年11月13日	有価証券届出書の訂正届出書
2018年11月13日	半期報告書

独立監査人の監査報告書

平成30年6月27日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トー マ ツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 弥永 めぐみ 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 青木 裕晃 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第33期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の平成30年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成31年 3 月20日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2020の平成30年2月15日から平成31年2月14日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2020の平成31年2月14日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成31年 3 月20日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2030の平成30年2月15日から平成31年2月14日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2030の平成31年2月14日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成31年 3 月20日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂 印
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2040の平成30年 2 月15日から平成31年 2 月14日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱ＵＦＪ＜ＤＣ＞ターゲット・イヤー ファンド 2040の平成31年 2 月14日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成30年12月3日

三菱ＵＦＪ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員

公認会計士

青

木

裕

晃

印

業務執行社員

指定有限責任社員

公認会計士

伊

藤

鉄

也

印

業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第34期事業年度の中間会計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。